

令和6年度（2024年度）

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

浅口市教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について	1
1	経 緯	1
2	目 的	1
3	点検・評価の対象及び方法等	1
4	学識経験者による知見の活用	2
5	浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要	3
6	点検・評価シートの作成	4
7	事務局、教育機関の機構	5
II	教育委員会の活動状況	6
1	教育委員会会議の開催状況	6
2	名簿	6
3	令和6年度教育委員会会議の開催状況	6
4	教育委員会の学校訪問	8
5	教育委員会会議以外の活動状況	9
III	点検・評価の結果	12
	基本方針1「幼児教育・学校教育の充実」	12
	基本事業【確かな学力向上の推進】	12
	・確かな学力向上の推進	12
	・特別支援教育の充実	13
	・社会に開かれた学校づくり	14
	・教育の充実のための学校組織体制	15
	・個に対応した家庭支援・援助	16
	基本事業【心の教育の推進】	17
	・心の教育の推進	17
	・人権教育の推進	19
	基本事業【体育・健康教育の充実】	20
	・体育・健康教育の充実	20
	基本事業【デジタル社会に対応した教育の充実】	22
	・GIGAスクール構想の推進	22
	基本事業【学校施設の整備・充実】	23
	・学習環境の整備・充実	23
	基本方針2「豊かな人生を育む生涯学習の充実」	26
	基本事業【生涯学習の充実】	26
	・人材育成活動の推進	26
	・生涯学習活動の推進	26
	・公民館活動の推進	26
	・図書館活動の推進	27

・広報・啓発活動	28
・家庭教育の推進	28
・学校、家庭、地域との連携による教育力の充実	28
・子ども読書活動の推進	29
基本事業【青少年健全育成団体の活動支援】	30
・青少年健全育成の推進	30
基本事業【社会教育施設の整備・充実】	31
・社会教育施設の整備・充実	31
・岡山天文博物館の円滑な管理・運営	31
基本方針3「スポーツ活動の振興」	34
基本事業【スポーツ推進計画の推進】	34
・スポーツ推進計画の推進	34
基本事業【各種スポーツ団体の育成・支援】	35
・各種スポーツ団体の育成・支援	35
基本事業【スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実】	36
・スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実及び活用	36
基本方針4「歴史文化の保全活用と芸術文化の振興」	38
基本事業【歴史・文化的資源の保全・活用】	38
・文化財の保護・保存・公開・普及活動	38
基本事業【芸術文化活動の振興】	40
・芸術文化活動の普及と振興	40
基本事業【文化施設の整備・充実】	41
・かもがた町家公園の円滑な管理・運営	41
・阿藤伯海記念公園の円滑な管理・運営	42
基本方針5「グローバルな感性を育む国際交流の促進」	44
基本事業【国際交流の推進】	44
・姉妹都市（豪州・ティツリーガリー市）、友好提携都市（中国・高安市）との交流	44
・交流を通しての国際理解	44
基本事業【国際的に活躍できる青少年の育成】	45
・コミュニケーション能力の向上	45
基本事業【国際理解教育の推進】	46
・ALTを活かした英語活動の充実	46
基本方針6「だれもが活躍できる社会の実現」	47
基本事業【人権啓発、人権教育の推進】	47
・人権教育の推進	47
・人権啓発・教育の指導者リーダーの養成	47
基本方針7「安心して産み育てることができる子育て支援の充実」	49
基本事業【出産・育児・保育サポートの充実】	49

・子育て環境の整備・充実	4 9
基本事業【放課後児童健全育成事業の充実】	5 2
・放課後児童クラブの充実	5 2
基本事業【遊び・交流の場の整備・充実】	5 4
・遊び・交流の場の整備・充実	5 4
IV 浅口市教育委員会評価委員の総合評価（令和6年度事業分）	5 5

資料

【資料1】令和6年度 園児・児童・生徒数（5月1日現在）	6 1
【資料2】令和6年度 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校 及び教職員の研修一覧	6 2
【資料3】令和6年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧	6 4
【資料4】令和6年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績	6 5

I 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

1 経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この改正法の規定に基づき、浅口市教育委員会が行った諸事業について、点検及び評価の結果について報告書にまとめるものです。

2 目的

地教行法の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することとしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する行政の説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 点検・評価の対象及び方法等

（1）対象

- ア 浅口市教育委員会の運営状況
- イ 浅口市教育委員会が管理・執行する事務
- ウ 「浅口市教育行政の基本方針」に掲げている主要施策の取組状況

（2）方法

令和6年度における各事業の達成状況を把握し、その取組状況について点検・評価を実施します。

（3）報告

- ・時期 浅口市議会令和7年9月定例会
- ・報告の場 総務文教常任委員会

（4）公表

- ・浅口市ホームページ及び教育委員会事務局での閲覧

4 学識経験者による知見の活用

点検・評価にあたっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、浅口市教育委員会評価委員から意見を聴取いたしました。

◇ 浅口市教育委員会評価委員（令和7年度）

番号	氏 名	所 属	備 考
1	浦上 博文	岡山短期大学幼児教育学科特別専任教授	
2	大島 敬子	元幼稚園園長	
3	吉田 真悟	元小学校校長	

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

5 浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要

(1) 教育委員会の運営状況

評 価 項 目	評 価 内 容
ア 教育委員会の会議の運営	・ 教育委員会定例会の開催回数 ・ 教育委員会臨時会の開催回数
イ 教育委員の研修等	・ 研修等の参加状況

(2) 教育委員会が管理及び執行する事務

評 価 項 目	評 価 内 容
ア 教育行政の運営に関する基本方針	・ 基本方針の策定
イ 規則等の改廃	・ 規則等の制定・改正等
ウ 議会の議決を経るべき議案	・ 条例、予算等の議案
エ 教育関係予算	・ 教育行政に関する当初及び補正予算
オ 教育委員会の所管に属する学校 その他の教育機関の設置又は廃止	・ 設置又は廃止の状況
カ 職員の任免に関すること	・ 教育委員会事務局職員の人事異動等の状況
キ 教科用図書の採択の決定に関する こと	・ 教科用図書の採択状況
ク その他	

6 点検・評価シートの作成

(1) 点検・評価項目

教育行政における教育委員会の活動状況、管理・執行する事務及び基本方針に掲げた基本事業について点検・評価します。

(2) 事業概要

点検・評価項目の基本事業について、その概要を記載します。

(3) 取組状況

点検・評価項目の基本事業について、目的を達成するための具体的な取り組み状況を記載します。

(4) 課題・方向性

今後の課題、改善点及び方向性について記載します。

(5) 自己評価

基本事業に対する達成度や効果等について、評価を記載します。

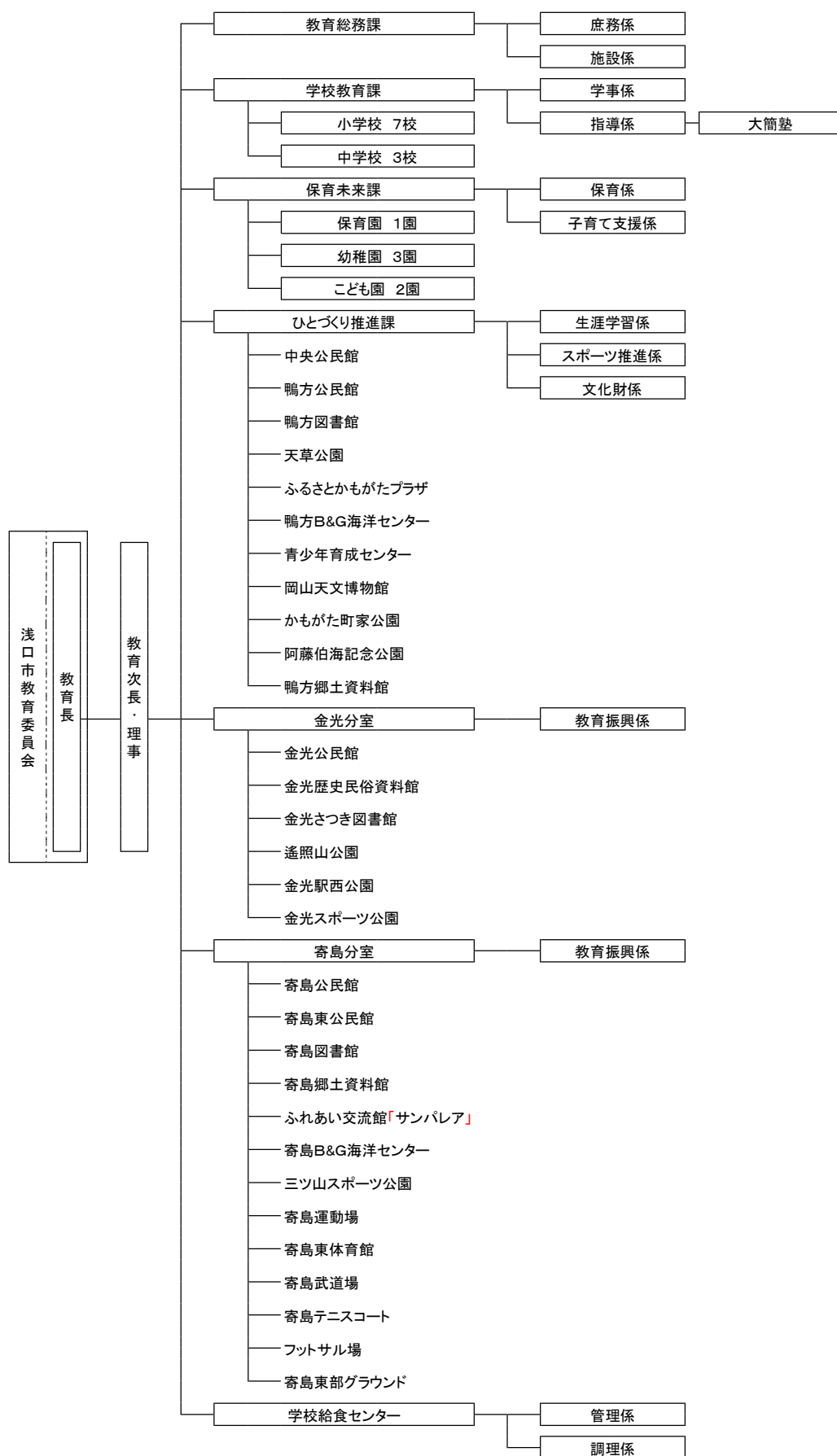
(6) 評価委員の総合評価

外部委員の意見・評価を記載します。

(7) 評価指標

- | | |
|---------------|-----------------|
| A：十分達成された。 | (目標達成率 90～100%) |
| B：概ね達成された。 | (目標達成率 80～89%) |
| C：やや達成できなかった。 | (目標達成率 70～79%) |
| D：達成できなかった。 | (目標達成率 ～69%) |

7 事務局、教育機関の機構（令和6年4月1日現在）



Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議の開催状況

浅口市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催している。この会議では、教育長及び4名の教育委員が、教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定・改廃、教科用図書の採択、文化財の指定など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、教育に関する重要事項について事務局から報告等を受けている。

2 名簿（令和6年5月12日現在）

職 名	氏 名	就任年月日	任期満了年月日
教 育 長	中 野 留 美	令和4年5月12日	令和7年5月11日
委 員 (教育長職務代理者)	高 戸 崇	令和4年5月12日	令和8年5月11日
委 員	藤 澤 弘 幸	令和5年5月12日	令和9年5月11日
委 員	佐 藤 賢 次	令和3年5月12日	令和7年5月11日
委 員	河 野 由 美 子	令和6年5月12日	令和10年5月11日

3 令和6年度教育委員会会議の開催状況

	期 日	場 所	附 議 案 件 等
4月定例会	4月17日	中央公民館	・浅口市浅口音楽フェスティバル補助金交付要綱の制定について ・浅口市熱中症対策事業補助金交付要綱の制定について ・浅口市障害児保育事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について
5月定例会	5月13日	中央公民館	
6月定例会	6月18日	中央公民館	・準要保護の認定について ・教育財産の用途廃止について ・浅口市特定教育・保育施設等の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部を改正する告示について ・浅口市立図書館運営協議会委員の委嘱について ・浅口市子ども・子育て会議委員の委嘱について
7月定例会	7月16日	中央公民館	・準要保護の認定について ・中学校教科用図書の採択について

			・浅口市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について ・普通財産の管理について
8月定例会	8月9日	中央公民館	・準要保護の認定について ・令和7年度使用特別支援学級教科用図書の採択について ・教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
9月定例会	9月13日	中央公民館	・浅口市保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等の利用調整に関する基準要綱の一部を改正する告示について
10月定例会	10月16日	中央公民館	・準要保護の認定について
11月定例会	11月20日	中央公民館	・浅口市立学校管理規則の一部を改正する規則について
12月定例会	12月17日	学校給食センター	・準要保護の認定について ・浅口市きらきら賞受賞者の決定について
1月定例会	1月21日	中央公民館	・準要保護の認定について ・浅口市寄島中学校跡地利活用補助金交付要綱の制定について
2月定例会	2月14日	ふれあい交流館サンパレア	・準要保護の認定について ・教育財産の用途廃止について ・義務教育学校の設置に伴う関係規則の整備に関する規則について ・義務教育学校の設置に伴う関係告示の整備に関する告示について ・浅口市就学援助事務取扱要領の一部を改正する訓令について ・浅口市指定文化財の諮問について
3月定例会	3月11日	中央公民館	・県費負担教育職員たる校長の任免の内申について ・準要保護の認定について ・令和7年度使用特別支援学級教科用図書の採択について ・浅口市立中学校及び義務教育学校後期課程の学校給食費無償化実施要綱の制定について ・浅口市立以外中学校等給食費相当分負担金交付要綱の制定について ・浅口市私立保育所等給食費補助金交付要綱の制定について ・浅口市招致外国青年就業規則の一部を改正する規則について

		・浅口市児童福祉法第56条の規定に基づく保育の利用に伴う費用の徴収等に関する規則の一部を改正する規則について ・浅口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する規則の一部を改正する規則について ・浅口市第3子以降学校給食費半額免除実施要綱の一部を改正する告示について ・浅口市私立認可保育所等運営費補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・浅口市保育士等雇用促進事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・普通財産の管理について ・令和7年度（2025年度）教育行政の基本方針について ・教育委員会事務局職員の教育次長、理事及び課長級の任免について
--	--	---

4 教育委員会の学校訪問

時期	訪 問 先	概 要
6月5日	鴨方西小学校、六条院小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
6月11日	鴨方中学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
6月21日	金光竹小学校、金光中学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
7月2日	金光吉備小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
9月12日	寄島中学校、寄島小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
11月7日	金光小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
11月8日	鴨方中学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）

11月28日	鴨方東小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
12月17日	鴨方東幼稚園、鴨方西幼稚園、寄島こども園	保育参観、園長との懇談
1月21日	金光幼稚園、竜南保育園、六条院こども園	保育参観、園長との懇談

5 教育委員会議以外の活動状況

令和6年度の主な活動は次のとおりである。

時 期	各種会議・関係行事	概 要
4月5～ 12日	○市立学校・園入学式	・市立保育園1園、幼稚園3園、こども園2園、小学校7校、中学校3校
5月13日 6月3日	○浅口市教育委員情報交換会等	・研修、情報交換 中央公民館
5月18日～ 11月2日	○市立学校・園運動会・体育会	・市立学校・園
4月24日	○令和6年度教育問題懇談会	・WEB 会議
5月16日	○岡山県都市教育委員会教育長協議会	・第1回定例会 赤磐市消防本部
5月9～ 10日	○全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会	・第74回総会、研究大会 出島メッセ長崎
5月26日 9月29日 10月13日	○浅口市民体育祭	・金光大会 ・鴨方大会 ・寄島大会「寄島もやいの体育祭」
6月18日	○総合教育会議	・第1回 中央公民館 「学校のGIGA 端末の更新及びネットワークについて」「寄島学園（義務教育学校）開校に向けた準備について」
7月19日	○岡山教育事務所管内教育長連絡会議	・連絡会議 ピュアリティまきび
8月9日	○教育委員会市内視察	・ひんやりルーム（天草体育館）
8月25日	○オールキラリアワード表彰式	・中央公民館

9月13日	○教育委員会協議会	・休日学校部活動の地域移行について
10月11日	○教育委員会視察	・美咲町立旭学園（施設一体型義務教育学校）
10月11日	○岡山市町村教育委員会連絡協議会	・総会 ・書面開催
10月15日	○岡山県教育長と市町村教育長との意見交換会	・意見交換会 おかやま西川原プラザ別館
10月16日	○総合教育会議	・第2回 中央公民館 「休日部活動の地域移行について」 「寄島学園の特色について」
10月17日 ～18日	○中国地区都市教育長会定期総会並びに研究協議会	・定期総会、研究協議会 米子ワシントンホテルプラザ
10月23日	○六条院こども園研究会公開指定並びに公開保育	・未来を切り拓く力を育む幼児教育の創造～一人一人の発達に応じた環境構成や援助を探る～
10月23日	○岡山教育事務所管内教育長連絡会議	・連絡会議 ピュアリティまきび
11月8日	○金光中学校研究発表会	・主体的・対話的で深い学びの充実～自ら学び、表現する活動を通して～
11月12日	○岡山県都市教育委員会教育長協議会	・第2回定例会 真庭市立北房小学校
11月13日	○令和6年度岡山市町村教育委員会委員研修会（市町村教育委員会連絡協議会研修会）	・WEB研修会 ・テーマ「部活動の地域移行」
12月17日	○学校給食センター視察及び学校給食の試食	・学校給食センター
1月12日	○二十歳の集い	・ふれあい交流館サンパレア
1月26日	○浅口市きらきら賞表彰式	・中央公民館
3月13日～ 25日	○市立学校・園卒業式	・市立保育園1園、幼稚園3園、こども園2園、小学校7校、中学校3校

課題・方向性	・教育委員相互の意見交換や教育委員会事務局からの説明聴取を積極的に行い、様々な教育課題について議論し、市の教育行政の方向性を定めていけるよう工夫していく。 ・学校・園訪問を適切な時期・方法で継続し、授業参観や校園長と懇談を行い、教育現場の実態把握に努め、具体的な指導・支援を講じていく。 ・総合教育会議を通じて、市長とより緊密に連携を図りながら、教育行政を推進していく。 ・小中一貫教育の推進のため、研修会等への参加や先進地視察を行い、各地域に適した方向性を検討していく。
自己評価	自己評価 A ・学校訪問では、市内公立16校園へ訪問した。授業や保育現場の参観、校園長との懇談を行うことで、教育及び保育現場の意見を積極的に聴くことに努めた。また、教育委員会事務局からの報告や連絡を受けるだけでなく、事務局へ報告を求め、情報交換会やオンライン研修会に出席する等、教育行政に関する見識を深め、積極的に諸課題に対応し、教育現場や事務局と連携を図りながら、指導・支援を行うことができた。 ・総合教育会議では、「学校のGIGA端末の更新及びネットワークについて」「寄島学園（義務教育学校）開校に向けた準備について」「休日部活動の地域移行について」「寄島学園の特色について」の4件について、市長と現状確認や協議、意見交換を行い、教育課題に対する共通理解を図ることができた。 ・寄島小学校と寄島中学校が、令和7年度より学校の新たな形である義務教育学校「寄島学園」として開校することができた。

Ⅲ 点検・評価の結果

基本方針 1 幼児教育・学校教育の充実

＜基本事業＞確かな学力向上の推進（キラリと光る未来プロジェクトの推進）

【担当：学校教育課】

確かな学力向上の推進	事業の内容	事業概要
	学習指導方法の工夫・改善	・学校経営アクションプランに基づいた学校訪問の充実 ・浅口市教育委員会・小教研・中教研における研究推進 ・国、県の学力・学習状況調査の分析と結果の活用 ・授業改革推進員、指導教諭による授業改善の推進 ・主体的な学びづくり事業による基礎学力の向上
		取組状況
	小中一貫教育の推進	・県教委の訪問により、学校経営アクションプランに基づいた説明や授業参観、協議を行い、授業改善を含めたよりよい学校経営に生かされるよう充実を図った。 ・学力調査結果の分析を行い、各校の成果や課題を整理し、さらに学校間で情報共有をすることで、授業改善や学校課題の解決に努めている。
		取組状況
		・一貫教育推進チーフを配置し、小中一貫教育校ごとの特色を生かした更なる小中一貫教育の推進 ・「小中一貫教育研究推進チーム」による各教科等教育の充実 ・浅口市立寄島学園（義務教育学校）開校に向けた準備 ・あさくち未来学の研究・実践
		・各小中一貫教育校ごとに、一貫教育カリキュラムの実践を充実させた。 ・小学校での一部教科担任制により、空き時間の確保や授業の質の向上を図ることができた。 ・理科教育・英語教育に関しては、継続的な取組により、小中一貫教育の視点での研究実践を積み重ねた。 ・令和4年度に作成した「あさくち未来学」のカリキュラムをもとに実践し、地域資源や地域人材を活用した、特色ある取組を展開することができた。

	保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校の連携	・校園長会、校長会、教頭会との連携 ・担当者別研修会（教務、養護教諭、生徒指導、不登校担当者、特別支援教育コーディネーター等）の充実 ・園・小学校の架け橋期におけるカリキュラムの構築と推進
		取組状況
		・校園長会や担当者会において、取り組みや課題の協議を行った。 ・担当者研修を計画的に開催し、諸課題についての協議や情報共有を図った。 ・園小連携については、カリキュラムに基づいた系統的な指導を行い、より円滑な接続につなげることができた。
	外国語教育・国際理解教育の推進	・英語準２級以上取得した児童生徒に報奨金交付 ・外国語指導助手（ＡＬＴ）の活用 ・英語教育指導員の配置 ・ＡＬＴ研修会及び授業研究による英語教育の充実
		取組状況
		・ＡＬＴを市内全ての公立保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校に配置し、系統的に指導を行い英語教育の充実を図っている。 ・英語専科加配、小中連携加配教員により、市内全ての小学校３・４・５・６年生で充実した英語教育を展開した。 ・英語教育指導員による授業参観やＡＬＴ研修を定期的に行い、よりよい授業づくりを目指した。 ・市内の学校間でオンラインでつないで、交流することができた。
特別支援教育の充実	事業の内容	事業概要
	特別支援教育の推進と体制整備に関する研究	・学校園における特別支援教育推進体制整備への支援 ・学校の実態に即した生活支援員の配置と活用 ・通常学級及び特別支援学級における児童生徒に関する指導・支援の充実 ・「就学前からの特別支援教育拠点化推進事業」を活用した特別支援教育推進体制と専門性向上に関する実践研究
		取組状況
		・各校園において特別支援教育の中心となる教員を位置づけ、組織的、継続的な支援ができるように体制を整えている。 ・県の専門指導員派遣事業、総合教育センターの学校コンサルテーション事業を活用し、専門的な助言を基に指導支援の改善を図った。 ・金光小学校言語障害通級指導教室、六条院小学校の自閉症・情緒障害通級指導教室では、個別の障害特性に合わせた指導支援を行うことができた。 ・支援委員会で審議する名簿提出を７月に早めることで、審議に向けた準備を充実させることができた。 ・利用人数 ことばの教室（３２人）あすなろ教室（２２人）

	研修の充実	・障害種別に応じた特別支援教育の研修の充実
		取組状況
		・支援員を対象とした個別支援の在り方等についての特別支援教育の研修会を実施し、個別対応の仕方や配慮する点について研修を深めた。
	就学指導の充実	・学校園及び関係機関と連携した個に応じた適切な学びの場を考える就学指導の充実
		取組状況
		・就学指導等連絡協議会を実施し、就学前の子どもの実態について情報を共有している。 ・支援を必要とする子どもたちへの適切かつ継続的な支援とするため、特別支援教育担当者に対して支援委員会の持ち方や個別の教育支援計画の作成と共有、引継ぎについて確実に行うよう働きかけた。 ・保護者を対象として、就学指導の流れについて説明する機会を設けている。
	適切な支援を考えるケース会議の充実	・要保護児童対策地域協議会実務者会議等を通じての情報の共有 ・適切な教育・保育・家庭支援のためのケース会議への支援
		取組状況
		・関係課・機関と情報の共有を密にし、対象となる児童・生徒への支援方針や体制を確認した。 ・学校でのケース会議に専門的な立場の先生やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等が参加し、今後の支援方針や体制について協議することができ、支援の方向性について共有化を図った。
	事業の内容	事業概要
社会に開かれた学校づくり	社会に開かれた学校づくり	・学校園評価を活用した学校経営方針の決定 ・「社会に開かれた教育課程」の実践 ・学校運営協議会の定期的な実施と地域学校協働活動との一体的な推進支援
		取組状況
		・小中一貫教育校として、小中一体となり教育を進めることができた。 ・小中一貫教育の取組について学びや活動の様子を市のホームページや広報誌を活用して地域・保護者へ発信した。 ・コミュニティ・スクール（ＣＳ）推進については各校、各地区の学校運営協議会が特色ある取組を検討、実施し、着実に進んできている。 ・学校運営協議会と地域学校協働本部との一体的な推進を意識した取組も進んできている。

教育の充実のための学校組織体制	事業の内容	事業概要
	教職員の適正な配置と加配教員等の活用	・初任者研修等各種職階別研修の充実 ・加配教員等を活用した学校運営や教育内容の充実のための指導・支援
		取組状況 ・笠岡市、井原市、里庄町、矢掛町、早島町と連携し、キャリアステージに応じた研修（合同若手研修、合同中堅研修）の場を設定した。 ・各校へ加配の目的を明確に伝え、目的に合った適切な指導・支援となるように指導を行った。また、加配による成果について確認した。
	教職員のサービスの厳正	・校長会及び管理職研修によるサービスの厳正 ・教職員ストレスチェックの実施 ・教職員の不祥事防止のためのコンプライアンス研修の推進
		取組状況 ・教職員のサービス管理に関しては、毎月の校長会において県から示される資料等を用いて定期的に指導の徹底を行った。 ・学校グループウェアの活用により、出退勤の管理を行っている。各校においてアイデアを出し合い、働き方改革を推進しているが、超過時間が多くなっている教員も見られるため、校長を通じて労務管理に努めている。 ・教職員のストレスチェックを実施し、心の状態について自ら顧みることができるようにしている。 ・市内各校で毎月コンプライアンス研修を実施している。不祥事案を自分事として考えられるように、各校の推進員がグループ協議等研修形態を工夫した研修の場を設けている。 ・校長からの聞き取りや学校訪問により、学校の様子の把握に努め、学校では、教職員への声かけ、校内環境の点検・整備等を行い、風通しのよい職場づくりに努めている。
	人事評価システムの適正な運用と活用	・教職員の育成・評価システムによる教職員の資質能力の向上及び学校組織の活性化
		取組状況 ・教職員の資質能力の向上と学校組織の活性化に結び付けられるように「教職員の育成・評価システム」に基づいた適切な運用となるように校長会で継続的に指導をした。 ・面談等の確実な実施とその把握のためにチェックリストを作成し、活用することで確実な評価につなげた。 ・管理職へは、適切な評価ができるよう、日々の授業観察や教職員とのコミュニケーションの重要性について指導した。
	教職員の働き方改革の推進	・人的配置（学級アシスタント、部活動指導員等）による勤務負担軽減の取組 ・校務支援システムや学校用グループウェア等の活用による効率

		的な職務の遂行 ・就学時健康診断を教育委員会事務局にて実施
		取組状況 ・授業準備支援や児童・生徒の個別支援を行う教師業務アシスタントや学級アシスタントを配置することにより、教職員の負担感の軽減につながっている。 ・部活動指導員配置事業を活用し、7名の指導員（陸上・剣道・野球・卓球2・吹奏楽2）を配置し、教員の負担軽減につなげることができた。 ・学校用グループウェアの活用により、学校間の連絡や情報共有などが効果的に行われ、負担軽減につながっている。 ・校務支援ソフトを活用し、成績処理や指導要録の管理等について効率化が図られている。 ・保護者連絡アプリ「コドモン」の活用で、電話対応の負担を軽減することができた。
個に対応した家庭支援・援助	事業の内容	事業概要
	就学（園）援助	（小学校・中学校） ・要保護、準要保護の認定 ・認定された就学者へ、医療費・修学旅行費等の給付（保育園・幼稚園・こども園） ・生活保護世帯等の就園者へ、保育に必要な物品等の購入に要する費用の給付（実費徴収に係る補足給付事業）
		取組状況
	給食費支援	（小学校・中学校） ・認定された対象者に対して、適切に就学援助費の支給をすることができた。 （保育園・幼稚園・こども園） ・生活保護世帯の給付対象者に制度の周知を図り、給食費や園用品等費用の一部給付を行った。
		・多子世帯の経済的負担軽減のため、市立小中学校に在籍する第3子以降の学校給食費の半額免除 ・給食費値上げ分を公費負担する学校等給食費高騰対策事業 ・給食費の一部給付を行った。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
家庭学習1日1時間以上の生徒の割合 ※岡山県学力・学習状況調査による	(中1)80.0%	(中1)62.5%

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っている生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査による	(中2)65.0%	(中2)65.6%

課題・方向性	・各校で学力調査の結果を丁寧に分析し、成果と課題を捉えていくことは子どもたちの学びや育ちを考える上で大切であると考えている。 ・鴨方中学校・金光中学校に続いて寄島中学校、金光小学校、六条院小学校にも「自立応援室」を設けて、細やかな支援を行い心が落ちつく居場所づくりを進めた。今後も教育相談や総合質問紙調査等を分析し、児童生徒の実態や状況を捉え、関係機関ともつながりながらきめ細やかな対応を進めていく。 ・令和5年度から中学校区で「小中一貫教育校」の指定を行っており、令和6年度もより一層協働・連携を推進することができた。
自己評価	自己評価 B ・各小中一貫教育校で、各校での取組の継続的な推進と教科担任制の取組や乗り入れ授業、理科教育や英語教育の継続的な実践により、心豊かでたくましい児童・生徒の育成に努めることができた。 ・端末を活用した授業実践が着実に進んだ。今後個別最適な学び、協働的な学びにつなげ、主体的・対話的で深い学びへと展開していくようにする。

＜基本事業＞心の教育の推進

【担当：学校教育課】

	事業の内容	事業概要
心の教育の推進	道徳教育の充実	・学校園における「あいさつ運動」の推進
		取組状況
		・各校で、参観日・学校公開・オープンスクール等において、道徳の時間の授業公開を行っている ・各校で学校運営協議会の活動が軌道に乗り、様々な体験活動や学習支援を行っている。あいさつの取組は多くの学校で重点課題として取り組んでいる。
	学社連携による体験学習の充実	・育成講座の充実による中学生のボランティア参加推進 ・地域学校協働活動の推進 ・「夏GAKUサプリ」、「冬GAKUミニサプリ」を通しての体験活動等の充実
		取組状況
		・地域学校協働本部と連携して地域人材を外部講師やボランティアとして招聘し、学習・体験活動の支援をしてもらった。また、活動の様子を学校便りやホームページで、保護者や地域への情報発信を積極的に行った。 ・中学生のボランティア育成が計画的に行われ、イベントの企画、運営に関わりながら、主体的に地域貢献していこうとする姿勢が高まってきている。

		・夏GAKUサプリーについては、中学生・高校生のボランティア参加もあり、学習、体験活動の充実を図ることができた。
	教育相談の充実	・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と効果的な活用 ・定期的な教育相談の実施
		取組状況
		・スクールカウンセラーは、県の配置により、市内全ての小学校・中学校に配置されている。児童・生徒・保護者等の悩みの相談を通して、心のケアを行うことができた。 ・青少年育成センター相談事業については、学校と連携を図りながら対応や取組を進め、児童生徒への適切な支援や学校への助言を行うことができた。 ・スクールソーシャルワーカー等については、全ての学校を巡回し、定期的な情報共有の場を設ける等家庭と学校をつなぐ役割を果たしている。 ・各校において学校ごとに教育相談を実施し、不登校、社会・学校不適応、一般育児問題等の相談を行い、児童生徒の把握に努めている。
	適応指導教室事業の推進	・個に応じた指導内容の充実 ・指導員と在籍学級担任との情報連携の促進 ・指導員の協働連携体制・円滑な運営体制の整備 ・カウンセラーの配置による心のケア
		取組状況
		・適応指導教室「大簡塾」は、落ち着いた環境の中で活動している。学校に行きづらい児童・生徒の居場所づくりにするとともに学習支援等を行い、学校復帰に向けた取組を行った。 ・令和6年度は5名の児童・生徒が利用した。 ・在籍学校と情報の共有や在籍校の先生方と適切に連携・交流を行い、学校復帰に向けていった。 ・訪問カウンセラーを大簡塾に配置し、大簡塾に通う児童・生徒や保護者の心のケアや相談に対応した。
	生徒指導の充実 (不登校対策・いじめ問題対策等)	・心理検査（i-check等）を活用した生徒指導の充実 ・登校支援員等による児童生徒への登校支援体制の充実 ・生徒指導担当者（不登校、いじめ問題等）の研修 ・いじめ問題対策連絡協議会の実施 ・中学校における別室支援の取組の推進
		取組状況
		・総合質問紙調査（i-check）を年2回実施し、児童・生徒の心身の状況をきめ細やかな把握に努めた。 ・県の事業を活用した市内小中学校への登校支援員の配置、新たに寄島中・金光小・六条院小への自立応援室の開設を行い、不登校傾向の児童・生徒に対して指導支援を行った。

		・いじめ問題対策連絡協議会は、市内の現状やいじめ問題への対応の在り方について協議した。
	就学前の教育支援	・保育園・幼稚園・こども園教育への指導・支援の充実
		取組状況
		・保育未来課・健康こども福祉課と連携を図り、就学についての相談の機会を設け、助言等を実施した。 ・「園小接続カリキュラム あさくち」に基づき、園と小のつながりを大切にしながら系統的な支援の充実に努めている。
人権教育の推進	事業の内容	事業概要
	人権教育の充実	・人権教育推進計画に基づく事業推進への指導・支援
		取組状況
		・各校において、人権教育年間計画に基づき、教職員研修を計画的に実施している。 ・人権集会を実施し、子どもたちと共に人権について考える機会をもった。
	保護者・地域社会との連携	・PTA人権教育の推進
		取組状況
		・各校・園において人権教育推進計画を作成し、教育課程に位置付けて推進している。 ・ひとづくり推進課との連携により、各園・小・中学校PTA人権教育研修会の実施している。 ・人権教育指導者養成講座を5回実施した。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
学校に行くのが楽しみな生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査による	(小6) 肯定率 88.0% (中3) 肯定率 80.0%	(小6) 肯定率 81.7% (中3) 肯定率 87.6%
(参考) 全国平均	(小6) 肯定率 84.8% (中3) 肯定率 83.8%	
(参考) 県平均	(小6) 肯定率 85.6% (中3) 肯定率 85.5%	

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
「認める、ほめる、励ます」活動により肯定的に感じている児童生徒の割合 ※i-check調査項目による	(小6) 肯定率 89.0% (中3) 肯定率 92.0%	(小6) 肯定率 91.4% (中3) 肯定率 90.5%
児童生徒が夢や希望を持つ ※i-check調査項目による	(小6) 肯定率 88.0% (中3) 肯定率 77.0%	(小6) 肯定率 82.7% (中3) 肯定率 75.6%
児童生徒の自己肯定感の向上 ※i-check調査項目による	(小6) 肯定率 72.0% (中3) 肯定率 72.0%	(小6) 肯定率 67.7% (中3) 肯定率 74.4%

課題・方向性	・学校に地域の方々が参画しながら子どもたちの育ちを支えてくれる風土が醸成され、学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的な教育を推進することができている。 ・小学校と中学校との連携がより一層深まり、連続性のある教育が充実しつつある。 ・小学校、中学校ともに不登校数は増加傾向にある。今後も教育相談や総合質問紙調査等を分析し、児童生徒の実態や状況を捉え、関係機関ともつながりながらきめ細やかな対応を進めていく必要がある。 ・適応指導教室がよりよい居場所となっている子どももあり、今後さらに充実していきたい。
自己評価	自己評価 B ・学校と地域が学校運営協議会での協議を通じて、子どもたちの心の育ちを支えてくれている。 ・また、県事業であるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、自立応援室等を活用しながら不登校傾向児童生徒への支援をし、心に寄り添う関わりを行うことができた。 ・不登校傾向の児童生徒は増加傾向にあり、適切な対処や支援が求められている。

<基本事業> 体育・健康教育の充実

【担当：学校教育課】

体育・健康教育の充実	事業の内容	事業概要
	体力づくり・スポーツ活動の推進	・小学校体育連盟・中学校体育連盟関係事業の支援 ・全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施と結果の活用 ・部活動の地域移行に係る部活動地域移行検討委員会の設置
		取組状況
		・小体連が主体となり、市陸上記録会を実施することで、運動への興味・関心を高めることができた。 ・全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施と結果を基に、各校で分析を行い、指導改善に努めている。
	心身の健康の保持増進	・感染症感染拡大防止のための学校園対応等の共有と対策の徹底 ・教職員及び園児・児童・生徒の健康診断実施
		取組状況
		・学校での身体計測のときには、養護教諭による保健指導を計画的に取り組んだ。 ・性教育、薬物乱用防止教育については、児童生徒にとって大切な学習であるにとらえ、玉島警察署等と連携しながら計画的に学習に取り組んでいる。

	望ましい食生活習慣の育成	・学校給食における食物アレルギー対策委員会の実施 ・栄養教諭等による食育指導の充実 ・食育全体計画の作成と実践 ・地産の食材について紹介する地産地消通信の発行など給食における地産地消の推進
		取組状況
	子どもたちの安全・安心な生活の推進	・次年度に向けての給食対応を決定する「食物アレルギー対策委員会」を毎年開催し、安心・安全な給食提供に努めている。 ・各校において食育全体計画を作成し、それに基づき、栄養教諭が学校に赴き、食育指導に計画的に取り組むことができた。 ・地産地消の推進を意識した学校給食献立を作成した。各校からのリクエスト献立も取り入れた。
		取組状況 ・学校園における月例安全点検の実施 ・登下校の児童・生徒の安全指導の充実（地域の見守り活動との連携） ・「浅口市通学路等交通安全プログラム」による合同点検の実施 ・浅口市青少年育成センター、玉島警察署、補導協議会等関係機関との連携

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
朝食摂取する生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査による	(中3)94.0%	(中3)95.0%

課題・方向性	・子どもたちの運動量及び運動機会の確保に努める必要がある。 ・学校によっては運動能力に偏りがあったり、低下傾向であったりすることもある。学校全体としての取組を検討することも大事である。 ・交通安全に関しては、道路整備や安全施策も大事であるが、子どもたちへの安全指導も重要である。
自己評価	自己評価 A ・通学路等安全プログラムでは、各校からの改善要望をふまえて、関係機関と協議を行い、できる限り迅速に対応し安全確保に努めた。 ・体育の授業や業間運動を工夫しながら体力向上の取組を推進した。ただ、子どもたち個々において体力面での課題はあり、今後個々の実態に応じた取組の工夫が必要と考える。

＜基本事業＞ デジタル社会に対応した教育の充実

【担当：学校教育課】

	事業の内容	事業概要
G I G A ス ク ー ル 構 想 の 推 進	G I G Aスクール 構想の推進	・小学校・中学校におけるG I G Aスクール構想によるI C T機器の効果的な活用の研究推進 ・タブレット端末による協働学習の推進 ・プログラミング教育用教材の活用推進 ・I C T支援員の配置と適切な授業支援 ・メディアとより良く付き合う力を育むデジタルシティズンシップ教育の充実とメディアコントロールの推進 ・タブレット端末持ち帰り実施による家庭学習と授業との連動
		取組状況 ・日々の授業での端末を活用する場面が増えている。 ・担当者による校内研修を実施したり、授業を公開したりして、1人1台端末を授業のどの場面で、どのように活用できるかを考え、個別最適化された学びや協働的な学びの研究が進み、学習活動場面での端末活用の幅も広がっている。 ・G I G Aスクール構想を推進するための担当者研修を行った。 ・よりよい使い手の育成のため、「G I G Aワークブック」の年間計画を作成し、計画的に進めている。 ・また、端末の家庭への持ち帰りも日常化し、家庭学習と授業の連携が進みつつある。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
授業でのタブレットなどのICT機器の使用頻度 ※ほぼ毎日の割合	(小)60.0% (中)50.0%	(小)76.5% (中)58.4%

課題・方向性	・授業場面での端末活用に関しては、積極的な活用が進んできている。 ・活用を進めていこうとする流れは大きくなっており、中学校での活用も進んできた。 ・また、教職員個々の活用意識の差やスキルの差によって、端末活用が進みにくい場合も散見される。
自己評価	自己評価 A ・昨年度以上に学習場面における端末の活用が進んできている。 ・教職員のスキルにより、活用の程度に関してはまだ差が見られるが、研修等を通して、徐々に抵抗感が少なくなりつつある。 ・メディアとの付き合い方、情報活用の担い手として考えられるように「GIGAワークブック」の年間計画を作成し、より実践しやすいものにすることができた。 ・課題であった夜間利用に実態を克服するため、夜間制限アプリを導入することで成果を出すことができた。

<基本事業> 学校施設の整備・充実

【担当：教育総務課】

	事業の内容	事業概要
学習環境の整備・充実	施設・設備等の整備・充実	【学習環境の整備・充実】 ・机椅子更新（金光竹小学校、寄島小学校、鴨方中学校） ・金光小学校西校舎1階廊下すべり止めマット購入、金光中学校体育館音響機器更新 など 【施設・設備等の整備・充実】 ・浅口市立寄島学園（義務教育学校）施設改修及び備品整備（照明器具LED化工事含む） ・照明器具LED化工事（金光中学校、六条院こども園） ・照明器具LED化工事実施設計（金光小学校、鴨方東小学校、寄島こども園、竜南保育園） ・学校給食室解体工事实施設計（鴨方東小学校、鴨方西小学校、六条院小学校） ・金光小学校北校舎屋上防水シート改修工事 ・金光竹小学校北校舎及び金光小学校西校舎爆裂改修工

	事 ・金光吉備小学校南校舎トイレ排水改善工事实施設計 ・鴨方東小学校北校舎門更新 ・鴨方西小学校及び六条院小学校総合遊具修繕 ・金光中学校体育館雨漏り改修工事、揚水ポンプ改修工事 ・鴨方中学校校舎北西斜面防草シート設置 ・鴨方中学校南校舎床改修及び外壁防水塗装工事 など
	取組状況
	【学習環境の整備・充実】 ・机椅子更新（金光竹小学校、寄島小学校、鴨方中学校） 令和6年8月完了 ・金光小学校西校舎1階廊下すべり止めマット購入、金光中学校体育館音響機器更新 令和6年8月完了 【施設・設備等の整備・充実】 ・浅口市立寄島学園（義務教育学校）施設改修及び備品整備（照明器具LED化工事含む） 令和7年1月完了 ・照明器具LED化工事（金光中学校、六条院こども園） 令和6年9月完了 ・照明器具LED化工事実施設計（金光小学校、鴨方東小学校、寄島こども園、竜南保育園） 令和6年10月完了 ・学校給食室解体工事实施設計（鴨方東小学校、鴨方西小学校、六条院小学校） 令和6年10月完了 ・金光小学校北校舎屋上防水シート改修工事 令和6年10月完了 ・金光竹小学校北校舎及び金光小学校西校舎爆裂改修工事 令和6年12月完了 ・金光吉備小学校南校舎トイレ排水改善工事实施設計 令和6年10月完了 ・鴨方東小学校北校舎門更新 令和6年9月完了 ・鴨方西小学校及び六条院小学校総合遊具修繕 令和7年3月完了 ・金光中学校体育館雨漏り改修工事、揚水ポンプ改修工事 令和6年9月完了 ・鴨方中学校校舎北西斜面防草シート設置 令和6年9月完了 ・鴨方中学校南校舎床改修及び外壁防水塗装工事 令和6年8月完了

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
照明器具LED化工事実施設計完了校園数	3校園	3校園
照明器具LED化工事完了校園数	3校園	3校園

課題・方向性	・昭和40年代から昭和50年代にかけて建築された学校施設が多く、更新の時期を迎えつつある。限られた財源や人員の中で、計画的に学校施設改修を行うため策定された学校施設長寿命化計画に基づき中長期的な計画のもとトータルコストの縮減や予算の平準化などを図ることが重要である。 - また、常に安全面の管理を徹底し、未然に事故等を防ぐ努力を継続していくことも大切である。 - 照明設備が水銀灯や蛍光灯からLEDに移行していることから、計画的に学校施設のLED化を実施していく。 ・教育環境の整備には予算の裏づけが必要となるため、各学校・園の状況を正確に把握し、優先度を付けて対応しなければならない。しかし、財政状況が厳しく、要望が全ては予算化されていないのが現状である。
自己評価	自己評価 B ・子どもたちの安全・安心を最優先に捉え、緊急性を要する案件から施設整備及び修繕を行うことができた。また各学校・園が必要とする補修や改修について予算の範囲内で計画的に取り組み、適切な環境整備に努めた。特に突発的な修繕等についても、予算の範囲内で臨機応変に対応することができた。 ・施設保全計画表に基づき各学校・園の施設点検を行うことができた。 ・浅口市立寄島学園開校の準備のため、改修工事を学校と調整し行った。

基本方針 2 豊かな人生を育む生涯学習の充実

＜基本事業＞生涯学習の充実

【担当：ひとづくり推進課】

人材育成活動の推進	事業の内容	事業概要
	地域を担う人材の育成	・地域の中高生と大人の語り場作り ・地域人材の発掘・育成 ・中学生・高校生ボランティアの育成 ・地域コーディネーター等のボランティアの育成 ・ボランティア育成のための研修会、情報交換会の開催
		取組状況 ・学校教育を地域ぐるみで支援するため、様々な経験や専門性を持つ地域ボランティアが学校の要請に基づいて活動した。各小・中学校に地域学校協働活動推進員を委嘱し、学校と学校支援ボランティアの連携に努めた。 ・読み聞かせなど、子どもと触れ合う機会の多いボランティアを対象とした講座を開催した。
生涯学習活動の推進	事業の内容	事業概要
	生涯学習推進体制の充実	・公民館等の生涯学習拠点施設の活用推進 ・社会教育団体の支援、育成 ・市内高等学校及び近隣大学との連携強化 ・ドローン体験教室・スマートフォン講座などICTを活用した新たな講座等の創出・実施
		取組状況 ・実用的なアプリを使うスマホ教室などを引き続き実施した。 ・子どもと大人が同じ目標に向かって活動する、ドローンレースクラブを設立した。 ・社会教育団体の活動に対して、支援や助言を行った。 ・公民館のWi-Fi環境を活用し、リモート会議やインターネットを使った事業を実施した。
	市民ニーズに対応した学習機会の提供	・天草学級・みどりの大学・シーサイド大学などの各種講座による多様な生涯学習機会の提供 ・学びの成果を生かす機会の提供と充実
		取組状況 ・天草学級・シーサイド大学・みどりの大学（金光9回、鴨方6回、寄島6回）を実施した。
公民館活動	事業の内容	事業概要
	地域と連携した公民館活動の活性化	・地域人材を活用した各種講座の実施 ・自主グループの育成 ・講座生等の成果発表の場の拡充

の 推 進		取組状況
		・公民館講座や放課後子ども教室の講師に地域の人材を活用し、各種講座を実施した。 ・各公民館において、自主グループが社会教育の目的を持って活動した。
幅広い層へ学習機 会の提供		・放課後子ども教室等、子ども向け講座の実施 ・各公民館における公民館講座の開催 ・ドローン体験教室・スマートフォン講座をはじめ、市民の多様なニーズや興味関心に応じた短期講座の充実 ・漢字検定、英語検定の実施
		取組状況
		・中学生を対象としたボランティア育成講座を行い、30人以上が受講した。ボランティア活動を通じた体験と学習をキーワードに、主催事業として「クリスマス工作会」や「子どもまつり」を行ったほか、「土曜夜市」や「ボランティアフェスタ」など、他団体が主催する事業にも参加し、ゲームコーナーの運営等を行った。 ・公民館講座は、各公民館で開講し、23講座を開催した他、数回の短期講座を開催した。 ・一体型の放課後児童クラブ・放課後子ども教室を、小学校で15回実施し、149人の児童が参加した。5月から3月の土曜日には、公民館で週末体験教室を15講座開催し、174人が受講した。 ・夏GAKUサプリは、金光公民館、中央公民館及び寄島公民館で50教室開催し、延べ969人参加した。 ・スマートフォン教室・SNS講座を3公民館で7教室開催し、106人参加した。 ・冬GAKUミニサプリを冬休みに開催した。金光公民館、中央公民館及び寄島公民館で20教室開催し、延べ259人参加した。
図 書 館 活 動 の 推 進	事業の内容	事業概要
	図 書 館 活 動 の 推 進、啓発、充実	・利用者のニーズに応じた図書等の収集・保存・情報提供 ・図書館・保育施設・学校等、市内施設での絵本の読み聞かせ事業等の実施 ・館の特色に応じた講座、展示など広く読書に親しんでもらうための事業の展開 ・広域連携ネットワークを利用した県立図書館等市外他館との貸出連携 ・インターネットを利用した図書貸出の推進
		取組状況
		・市立図書館合同の読書週間行事事業（1行の図書館）ほか、各館の特色を生かした学校との連携企画、お話会、企画展示、講演会、映画会などの事業を実施した。

広報・啓発活動	事業の内容	事業概要
	様々な媒体を利用した情報発信、広報啓発	・広報紙、ホームページ、メールサービス等を利用した参加者の募集、各種イベント情報の周知
		取組状況 ・広報紙・折込チラシで公民館講座生の募集を行った。 ・ホームページへ公民館講座の実施内容を掲載するとともに、講座生募集期間中は電子申請での申し込みを受け付けた。
家庭教育の推進	事業の内容	事業概要
	子育てに関する学習機会の提供、相談・支援体制の整備	・「家庭教育学級」、「家庭教育支援事業」などによる学習機会の提供 ・各種団体、機関等と連携した「届ける」家庭教育支援への取組 ・親育ち応援学習プログラムを活用した「親力アップ」の推進
		取組状況 ・市内小学校において、参加型学習プログラム「親育ち応援学習プログラム」や講演を7校で実施し、延べ222人参加した。
学校、家庭、地域との連携による教育力の充実	事業の内容	事業概要
	地域学校協働本部事業をはじめとする、学校、家庭、地域が連携した取組	・地域学校協働活動事業の取組 ・大人も子どもも育ち合う、地域教育力向上のための体制整備 ・地域学校協働活動推進員の活動支援
		取組状況 ・学校教育を地域ぐるみで支援するため、様々な経験や専門性を持つ地域ボランティアが学校の要請に基づいて活動した。また、各小・中学校に地域学校協働活動推進員を委嘱し、学校と学校支援ボランティアの連携に努めた。
	子ども体験活動教室を中心に地域ボランティアと連携した取組	・各公民館における子ども体験活動教室の開催 ・「夏GAKUサプリ」、「冬GAKUミニサプリ」を通しての体験活動等の充実 ・新・放課後子ども総合プランに基づく、放課後児童クラブとの一体型の放課後子ども教室を市内全小学校で実施
		取組状況 ・各公民館における週末の体験活動として、地域のボランティアの方々を講師とし、15講座の教室を開催した。 ・夏GAKUサプリは3公民館で50教室、延べ969人が参加。 ・冬GAKUミニサプリを開催し、計20教室、延べ259人が参加。 ・一体型の放課後児童クラブ・放課後子ども教室を小学校で15回実施し、地域のボランティアを講師に迎え、工作・ニュースポーツ等を実施した。

子ども読書活動の推進	事業の内容	事業概要
	「子ども読書活動推進計画」に基づく取組	・同じ目的で活動している機関・団体との連携によるネットワーク構築 ・活動の場の充実や情報提供 ・子どもの読書活動のきっかけづくりを目的として学校を通じた図書利用者カードの作成 ・児童生徒の読書活動の推進及び図書館の利用拡大のための学校司書と図書館司書等との連携
		取組状況
	発達段階に応じた子どもの読書活動の推進	・各館の特色を生かした子どもの読書週間企画を実施した。 ・子ども用の図書館利用案内を新たに作成した。 ・学校と図書館との連携強化を行った。（学校を通じた図書利用カード作成のしくみ化の立案と実施、学校司書と図書館司書の連絡会の開催） ・広報紙・ホームページ、マスコミへの情報提供による広報活動を充実した。 ・各校からの要請に応じて、図書館での職場体験を行った。
		取組状況
		・発達段階に応じた読書を生活リズムの中で位置付けられるような活動の推進 ・小学校低学年向け・高学年向け、中学生向けの図書館だよりを年3回発行した。 ・小学生の図書館見学の受け入れを行った。 ・読み聞かせボランティア等対象の講座を実施した。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
公民館講座・短期講座数	38講座	32講座
公民館利用者数	40,000人 (12月末現在)	50,906人 (12月末現在)
放課後子ども教室の実施回数	15回	15回
Wi-Fi環境を活用した講座等の実施回数	6回	4回
貸出図書数	135,000冊 (12月末現在)	106,723冊 (12月末現在)

課題・方向性	・令和3年度に新規で立ち上げた「ボランティア育成講座」「プログラミング教室」は今後も充実させていく。 ・Wi-Fi環境を活用し、ボランティア育成講座、プログラミング教室、スマートフォン教室を実施した。 ・公民館講座は、市民のニーズに沿った新たな定期講座や短期講座を実施することが必要である。 ・子どもの読書活動の推進については、読書活動推進計画を中心に、家庭・行政等が一体となって取り組んでいくことが必要である。
--------	---

自己評価	自己評価 A ・ボランティア育成講座、ドローン関連事業、スマホ教室のほか、冬GAKUミニサプリを継続して実施するなど、様々な世代を対象に、時代に即した生涯学習・社会教育を推進することができた。
------	--

＜基本事業＞ 青少年健全育成団体の活動支援

【担当：ひとつくり推進課】

	事業の内容	事業概要
青少年健全育成の推進	子ども育成条例に基づいた、家庭・学校・地域・企業及び行政が連携した教育推進	・地域全体で子どもを育てるための学校・家庭・地域・企業及び行政等の連携強化
		取組状況
	青少年団体活動の活性化	・学校・家庭・地域・企業・行政のパイプ役として、青少年育成センターが中心となり、補導活動や啓発活動の取組を行った。
		・浅口市青少年育成活動協議会による研修会の実施
		・青少年育成団体の活動支援
	青少年育成センターを中心にした補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の展開	・各団体への補助、支援
		取組状況
		・青少年育成活動協議会による各種イベント等の支援を行った。
		・ボーイスカウト・子ども会・はるか会・にじの会・風の子による青少年健全育成活動の支援を行った。
	青少年育成センターを中心にした補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の展開	・青色パトロールや学校訪問による児童・生徒の安全確保強化
		・街頭補導業務
		・小中学校のあいさつ運動への参画
		・相談業務
	青少年育成センターを中心にした補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の展開	・有害図書回収等による環境浄化
		・街頭キャンペーン等による啓発活動の実施
		取組状況
		・専任指導員及び指導員が中心となり、毎月実施の定例補導に加え、夜間特別補導や列車補導を実施した。
	青少年育成センターを中心にした補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の展開	・小・中学校へのあいさつ運動に参加し、地域に寄り添った活動を実施した。
		・相談員が定期的に市内小学校・中学校を巡回し、児童・生徒の見守りを行いながら、学校との情報共有も行った。
		・広報紙やホームページを活用して、相談業務をPRした。
		・市内3か所に設置している白ポストを活用して、有害図書やDVDの回収を行った。

	・岡山県青少年健全育成強調月間にあわせ、7月と11月にJR鴨方駅・金光駅周辺で啓発活動を実施した。 ・3月に浅口市青少年育成活動協議会研修会を実施し、和太鼓の披露、明るい家庭づくり作文優秀作品発表、講演会を行った。
--	--

課題・方向性	・青少年健全育成を目的とした各種団体間で連携を図るとともに、地域全体で家庭教育を行っていく社会構築が必要である。
自己評価	自己評価 A ・青少年育成センター業務は、学校や警察署と連携し、きめ細やかな対応を行った。

＜基本事業＞社会教育施設の整備・充実【担当：ひとづくり推進課】

社会教育施設の整備・充実	事業の内容	事業概要
	公民館、図書館など社会教育施設の整備・充実	・施設間で情報を共有する等のネットワークの強化 ・各公民館及び図書館におけるWi-Fi環境の活用 ・鴨方図書館空調設備改修工事 ・ふれあい交流館「サンパレア」外部天井張替え等整備工事
		取組状況 ・鴨方図書館の空調改修工事が完了し、より良い読書環境を整備することができた。
岡山天文博物館の円滑な管理・運営	事業の内容	事業概要
	天文台のあるまちとしての特色を活かした博物館の運営	・開館記念日事業「あさくち天文台フェスタ」及び天文や宇宙に関する知識を深めるための事業の実施 ・タッチパネル式大型モニターなど新しい展示物の活用 ・広いスペースを生かした体験型事業や講演会の充実 ・SNS等を利用したオンライン事業や情報発信 ・おかやま山陽高校に新設される50cm反射望遠鏡を活用した連携事業の実施
		取組状況 ・開館記念日事業「あさくち天文台フェスタ」として、国立天文台、京都大学と連携し、工作や天文台ツアー、スタンプラリー、記念講演会等を行った。 ・小学校4～6年生を対象に、天文学の基礎や望遠鏡の使い方などを学ぶ体験講座「こども天文クラブ」を年7回開催した。

		・平成30年4月1日から「浅口市日本一の天体観測適地を守る条例」を施行したことに伴い、七夕の時期にライトダウンキャンペーンを実施した。 ・夏休みは恐竜をテーマにしたプラネタリウム番組にあわせて企画展「ミニミニ恐竜パーク」を開催した。 ・冬に「こどもまつり」と銘うち、工作教室や星に関するビンゴゲーム等、幼児や子どもを対象とした科学イベントを開催した。 ・その他各種講座・イベント（観望会・宇宙☆自然講座・望遠鏡工作・かがく広場・天文台講座・幼児向けプラネタリウム等）を開催した。また、プラネタリウム室の多目的利用として、コンサートや、新規で星空ヨガなどの事業も開催した。いずれも大変好評で、毎回ほぼ満員の参加者があった。 ・博物館通信を、市内小学校（4年生以上）・中学校に配布した。 ・3公民館、3図書館及び金光駅・鴨方駅構内通路の掲示板にイベントポスターを掲示し、広報に努めた。 ・「岡山天文博物館友の会」の定期活動を支援した。
	国立天文台188cm望遠鏡に関する事業	・教育及び天文学の普及を目的とした188cm望遠鏡の学習利用及び観望会事業等の実施 ・188cm望遠鏡を利用した観光事業への協力 ※188cmドーム故障によるメンテナンスのため、188cm望遠鏡の利用停止。復旧次第、事業再開予定
		取組状況
		・令和4年秋のドーム事故によるメンテナンスのため、事業はすべて中止となった。
	京都大学3.8mせいめい望遠鏡に関する事業協力	・せいめい望遠鏡関連資材の展示協力 ・せいめい望遠鏡見学の受入及び電視観望会の開催
		取組状況
		・外回廊からの自由見学を引き続き実施した。 ・天文台ドームの中での望遠鏡見学ツアーは、開館中は月2回程度の頻度で実施した。 ・電視観望会を季節ごとに年4回開催した。
	岡山理科大学、京都大学との教育協力	・博物館主催事業への講師派遣 ・中学校等での出前授業等 ・博物館実習の受入
		取組状況
		・岡山理科大学との教育協定に基づき、天文教育普及と人材育成を目標に同大と連携し、博物館実習の受け入れを行った。

課題・方向性	・今後も各施設を適正に管理し、修繕等により利用者の安全と利便性の向上に努める。 ・全国の施設及び観光地の受け入れ制限がなくなったことにより、岡山天文博物館の入館者数は増加した。今後も教育及び観光の両方の活用を視野に入れ、積極的な事業展開と広報を行っていく。 ・京都大学、国立天文台とより連携し、魅力的な事業を展開し周知していくことが課題である。
自己評価	自己評価 B ・各公民館や社会教育施設は、修繕工事により安全性と利便性の維持に努めているが、施設の老朽化もあり、今後も適切なメンテナンスが必要である。広く市民に利用を促し、社会教育・生涯学習の促進を図っていく。 ・岡山天文博物館では、予定していた事業はすべて実施することができた。また学校との連携に向けて、授業の様子を視察したり、学校との検討会議に参加したりするなど、継続して行うことができた。 ・国立天文台や京都大学と協力し、施設の特別公開等の記念事業等を開催できた。また、せいめい望遠鏡等で撮影した天体画像等の紹介動画の配信及び展示室での公開や、電視観望会の開催など、天文のまちあさくちならではの事業を継続して開催することもできた。国立天文台、東京工業大学（令和6年10月から東京科学大学）との協定締結も7年目を迎え、より有効な活用方法を検討するとともに、関係各機関・部局との連携及び新たな事業展開が必要である。

(参考) 資料3 関連

貸出図書数/年	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
鴨方図書館	84,307冊	67,585冊	80,496冊	89,753冊	69.701 冊
金光さつき図書館	57,823冊	37,333冊	45,521冊	52,526冊	55.357 冊
寄島図書館	25,858冊	13,489冊	15,992冊	17,336冊	19.066 冊
計	167,988冊	118,407冊	142,009冊	159,615冊	144.124 冊

基本方針 3 スポーツ活動の振興

＜基本事業＞スポーツ推進計画の推進 【担当：ひとづくり推進課】

スポーツ推進計画の推進	事業の内容	事業概要
	スポーツ推進計画の推進	・スポーツ推進計画に基づく事業実施及び進捗状況の確認
		取組状況
	各種スポーツの推進	・スポーツ推進計画（計画期間：令和3年度～12年度）に基づき、市マラソン大会等を実施した。
		・ライフステージに応じたスポーツの推進
		・障害者スポーツの推進
		・スポーツ・レクリエーション活動の推進
		・ハイレベル技術に触れる機会の充実
		・ニュースポーツ活動の推進
		取組状況
		・スポーツ・レクリエーション活動の推進を行った。 ・スポーツ少年団の団員数増加のための体験教室を行った。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
スポーツ教室の開催数	3回	25回

課題・方向性	・ライフステージに応じた生涯スポーツの推進及びスポーツ・レクリエーション活動の推進を行っていく必要がある。 ・また、ハイレベル技術に触れる機会の充実を図っていく必要がある。
自己評価	自己評価 A ・浅口市マラソン大会を行うことができた。 ・スポーツ少年団ごとに団員数増加のための体験教室としてスポーツ教室を開催した。

＜基本事業＞各種スポーツ団体の育成・支援

【担当：ひとづくり推進課】

各種スポーツ団体の育成・支援	事業の内容	事業概要
	各種スポーツ団体の育成・支援	・スポーツ推進委員活動の充実 ・スポーツ協会、スポーツ少年団への活動支援 ・全国大会等に出場する選手への激励金の交付 ・国際大会等出場選手の激励懸垂幕の掲揚 ・中学校の休日部活動における地域指導者の確保 ・誰もが自由に参加できるスポーツフェスタの実施
		取組状況 ・年度末に各学校・園に対して市内スポーツ少年団の入団希望を募り、49名の入団希望があった。また、団員の追加募集も行った。 ・スポーツ推進委員による放課後子ども教室を3回実施した。 ・部活動の地域移行に向けて、「部活動地域移行推進委員会」を2回（9月・3月）開催した。内容は浅口市内の部活動の状況報告、今後の方向性についてグループ討議等を交えて意見交換を実施。（学校教育課と連携） ・誰もが自由に参加できる市民参加型のスポーツイベント「あさくちスポーツフェスタ」を3月に実施した。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
スポーツ推進委員による放課後子ども教室の実施数	3回以上	3回
激励金交付者(団体)数	70人(団体)	60人(団体)
スポーツ少年団への加入率	21.5%	24.4%

課題・方向性	・スポーツ推進計画を基に、生涯スポーツの普及・推進に努め、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめるよう環境づくりを進めていく。 ・休日の部活指導の地域指導員への移行を見据え、今後、人材発掘を進めていく。 ・スポーツ少年団の指導者の発掘や資質向上のための研修参加の呼び掛けを引き続き行っていく必要がある。
自己評価	自己評価 B ・各種大会の参加者数やスポーツ少年団の入団員数をみると、これまでの広報活動には一定の成果が見られるが、少子化の影響により減少していくことが考えられるので一層の広報活動が必要だと思われる。 ・放課後子ども教室で、ニュースポーツ体験をスポーツ推進委員が中心となり実施した。

＜基本事業＞スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

【担当：ひとづくり推進課】

スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実及び活用	事業の内容	事業概要
	手軽にスポーツを楽しめる施設の整備・充実	・ 公共施設予約システム活用による利便性の向上 ・ 寄島B&G海洋センター体育館改修工事 ・ 体育施設の改修及び老朽化した備品の更新 ・ ニュースポーツ用品の計画的な整備 ・ 学校体育施設の開放 ・ 温湿度センサー（LPWAの活用）を設置することによる、熱中症予防対策
		取組状況
		・ 温湿度センサー（LPWAの活用）を設置した。
	利用者間の連絡、調整による有効活用及び利用者への情報発信	・ 市スポーツ協会、スポーツ少年団等の各種団体の事業計画に基づく調整 ・ 市内施設の貸出方法等の調整 ・ ホームページ等による市内施設の情報発信
		取組状況
		・ 市内施設の貸出方法等について協議し、予約システムを運用している。 ・ 各種団体の事業計画に沿って調整を行い、各団体が必要とする体育施設を利用できるようにした。また必要に応じて代替施設を利用できるよう調整を行った。 ・ 小学校でニュースポーツ体験教室（放課後こども教室）を3回実施し、ニュースポーツの普及に努めることができた。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
スポーツ施設の利用者数	100,000人 (12月末現在)	114,890人 (12月末現在)
スポーツ・レクリエーション事業数	10事業 (12月末現在)	10事業 (12月末現在)

課題・方向性	・今後も各施設を整備し、利用者の利便性と安全性の向上に努めていく必要がある。 ・引き続きニュースポーツ用品の整備に努め、他事業とも連携して普及の場を広げていく必要がある。
自己評価	自己評価 B ・体育施設の更なる利便性・安全性の向上に努める必要がある。また、スポーツ推進委員が中心となりニュースポーツの普及・推進をしていくことで、スポーツに親しめる環境づくりができるものとする。 ・屋内施設については、常時の換気などを行う。

(参考) 資料3から抜粋

利用者数/年	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
天草公園	56,600人	47,458人	49,868人	71,026人	69,015人
ふるさとかもがたプラザ	10,975人	11,432人	14,559人	27,438人	32,438人
鴨方B&G海洋センター	-人	3,175人	8,916人	9,736人	9,501人
遙照山総合公園	5,085人	5,605人	7,675人	5,634人	6,238人
金光駅西公園	16,829人	15,959人	16,360人	13,540人	14,011人
金光スポーツ公園	18,854人	17,884人	18,867人	16,226人	2,9323人
寄島B&G海洋センター	6,056人	6,223人	10,347人	9,258人	7,924人
三ツ山スポーツ公園	23,803人	18,672人	31,320人	44,164人	46,864人
寄島運動場	1,439人	1,519人	3,781人	4,134人	3,943人
寄島東体育館	4,587人	4,966人	7,103人	8,917人	7,345人
寄島武道館	4,431人	3,597人	5,536人	5,292人	6,683人
寄島テニスコート	2,660人	1,719人	2,984人	3,247人	2,951人
フットサル場	6,590人	5,281人	8,378人	11,909人	11,406人
計	157,909人	143,490人	186,694人	230,521人	247,642人

基本方針 4 歴史文化の保全活用と芸術文化の振興

＜基本事業＞歴史・文化的資源の保全・活用

【担当：ひとづくり推進課】

文化財の保護・保存・公開・普及活動	事業の内容	事業概要
	歴史を伝える財産の適切な保全と資料館等での公開、伝承	・市指定文化財等の調査や保護 ・市指定名勝三郎島（三ツ山）の景観復元 ・市指定天然記念物アッケシソウ自生地環境整備 ・アッケシソウについて北海道厚岸町との交流 ・岡山民俗芸能大会の共催 ・市民の文化財等に対する理解や知識を深める機会の提供 ・文化財等管理団体の活動支援 ・埋蔵文化財の試掘確認調査等の実施及び遺跡や出土品の保護や記録保存 ・かもがた町家公園、阿藤伯海記念公園の管理運営 ・資料館での資料の公開 ・町並み保全
		取組状況 ・市指定有形文化財「龍宮門（旧正伝寺山門）」の計測調査を行った。 ・市指定史跡「青佐山台場跡」は、雑木の伐採等の環境整備を継続的に行った。 ・市指定名勝「三郎島（三ツ山）」は、景観整備事業として植生調査、クロマツの維持管理及び植栽を行った。 ・市指定文化財「谷田来右衛門・谷田弥五右衛門墓碑」は、周辺の環境整備を継続的に行った。 ・市指定天然記念物「アッケシソウ自生地」では、一昨年度A地区に設置した海水導入施設の効果により、アッケシソウの生育状態が良好となり、紅葉面積が拡大した。C地区木道の改修を行った。また、浅口市寄島町アッケシソウを守る会や岡山理科大学と協力して、調査や保護活動を展開した。アッケシソウキバガの食害対策として、薬剤散布を継続的に行った。 ・北海道厚岸町の行政視察の受け入れを行い、アッケシソウに関する情報交換を行った。 ・市指定文化財の表示看板1基を新たに設置した。 ・市内に所在する近代建造物調査を行い、保護及び指定等に必要な基礎データを収集した。 ・岡山県庭園悉皆調査事業では、岡山県教育庁文化財課と連携し、

	庭園調査を継続的に行った。 ・おかやま民俗芸能フェスティバル2024は、岡山県教育委員会と本市で共催し、市内から佐方ひがさき踊り保存会が出演し、伝統芸能に対する理解と関心を深めることができた。 ・浅口市文化財講座は、「緑のアクセシソウを楽しむ会」を実施した。 ・市指定無形民俗文化財の保存団体が行う保存活動事業に対し、補助金の交付や民間助成を紹介し、事業の継続や活性化を促した。 ・市内遺跡の開発行為に係る協議等を行い、開発事業と遺跡の保護の調整を図った。また、阿部山遺跡、土居東遺跡、東郷遺跡と森山遺跡で確認調査を行い、遺跡の内容把握に努めた。発掘調査後の未整理の遺物等の資料整理を行い、保存措置を図った。 ・分布調査、立会調査や確認調査の結果について、岡山県教育庁文化財課に周知の埋蔵文化財情報更新を適宜報告し、全県型総合型GISの遺跡の情報更新を図った。 ・岡山県指定重要文化財の旧高戸家住宅と市指定史跡町家跡の公開をかもがた町家管理組合に委託し、水曜日から日曜日に開園した。旧高戸家住宅は、破風、雨樋や障子等の修繕を行った。市指定史跡内では、西倉の破風やなまこ壁の修繕を行った。 ・市指定史跡の阿藤伯海旧居は、阿藤伯海記念公園管理組合に委託し、水曜日から日曜日に開園した。市指定史跡内では、主屋西壁と障子、居間の屋根、虚白室の障子、通用門袖壁の修繕を行った。 ・六条院小学校の出前講座では、古墳時代後期の横穴式石室を有する古墳の模擬調査等を昨年度に引き続き実施した。 ・資料館については、日常の維持管理と収蔵資料の整理とともに、古文書や民具類の燻蒸等を行った。また、寄贈資料の整理作業を行った。 ・『浅口市の地質時代を考える』を電子書籍化し、市ホームページに掲載した。 ・町並み保全では、備中町並みネットワークと協力し、地域の情報を共有できた。
--	---

課題・方向性	・文化財を保護継承していくためには日常から保存状態の把握に努め、不測の事態が生じた場合には早急に対応できるように、予算の確保が課題となる。 ・市内の重要な文化財については、関係者との協議を踏まえ指定や登録に務める。 ・市指定史跡「青佐山台場跡」は、幕末の景観を復元するために、環境整備を継続的に進める。 ・市指定名勝「三郎島（三ツ山）」は、植栽したクロマツの維持管理に継続的
--------	--

	に取り組む。 ・市指定文化財について、修理や管理等の保存する上で必要な指導及び助言を図る必要がある。 ・市民共有の財産である貴重な文化財の保存と活用については、所有者や行政だけではなく、市民団体や地域住民と協働してその取組を推進することが必要である。 ・無形民俗文化財では、通常の開催に戻り、文化財が公開された。 ・埋蔵文化財の保護については、今後増加が予想される発掘調査に対応するための効率的な事務執行ができる体制整備の構築が必要である。
自己評価	自己評価 A ・市指定史跡「青佐山台場跡」は、雑木を伐採し、景観保全を進めることができた。 ・市指定名勝「三郎島（三ツ山）」の景観整備事業では、クロマツの維持管理を計画通り推進することができた。 ・市指定天然記念物「アッケシソウ自生地」では、C地区木道を改修し、来場者に安全に見学できる環境を整備できた。 ・浅口市寄島町アッケシソウを守る会、鴨方ひがさき踊り保存会及び西山拙斎顕彰会の文化財保護活動について、顕彰することができた。 ・今後は、これまでに得られた文化財の情報を文化財講座等に活用し、市民の理解を深めるための学習機会をさらに充実させる必要がある。 ・岡山県庭園悉皆調査を行った「龍城院庭園」が、文化財的価値を有していることが判明し、岡山県名勝の指定となった。

＜基本事業＞芸術文化活動の振興

【担当：ひとづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
芸術文化活動の普及と振興	各種団体及び学校との連携による芸術文化活動の発展	・芸術文化活動への参加の奨励 ・自発的、積極的な文化活動の推進 ・国や県が実施する小学校・中学校向け文化芸術体験事業の周知及び取り次ぎ ・地域の芸術文化活動団体が取り組む子どもの芸術文化体験事業への支援
		取組状況
		・市立小学校・中学校に対して、文化庁や岡山県主催の芸術文化関連事業の紹介を行った。令和6年度は、六条院小学校が採択された。 ・高梁川流域連盟事業として、ふれあい交流館「サンパレア」において高校生絵画展、フォトコンテスト展を開催した。

	・浅口市総合文化祭については、金光・鴨方・寄島の各会場において、鴨方と寄島は同日に、金光は翌週にま実施した。各会場では、各町の公立幼稚園・こども園・小中学校の園児児童生徒の作品展も開催した。 ・芸術文化事業として、古典文学講座を実施した。
--	---

課題・方向性	・市民が芸術文化活動に触れる機会を増やすため、文化祭や音楽会等の事業の広報に努める。また、子どもが芸術文化活動へ触れる機会を増やすため、体験コーナーや発表の場を提供するなど芸術文化活動の入り口となるような事業強化に努める。 ・高梁川流域連盟事業の継続により、流域間における文化交流を促進する。 ・各団体の主体的な取組を支援していく。
自己評価	自己評価 A ・総合文化祭について、令和6年度は、従前は寄島会場のみ行っていた子ども達の作品展を金光・鴨方会場でも開催した。芸術文化に触れる機会を確保するため、実行委員会と連携して本事業を継続的に実施するとともに、来場者の増加を目指していきたい。 ・高梁川流域連盟の事業により、機関誌発行や展示会などを通じて、流域内での浅口市の存在感を高めるとともに、文化交流を図ることができた。

<基本事業>文化施設の整備・充実

【担当：ひとづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
かもがた町家公園の円滑な管理・運営	かもがた町家公園の円滑な管理・運営	・かもがた町家管理組合による伝承館や公園周辺文化遺産の案内 ・個人や団体へのふれあいの館、交流館などの貸館事業 ・かもがた町家管理組合との協働事業
		取組状況 ・市民活動の支援並びに市民相互の交流及び連携の促進のために、「交流館」と「ふれあいの館」の貸館事業を行った。 ・伝承館（岡山県指定重要文化財「旧高戸家住宅」）・郷土の館・交流館は、地域の歴史を学び文化を継承する場として活用した。 ・かもがた町家管理組合に、伝承館等の案内、公園の清掃、文化事業を委託して事業を実施した。

	来園者に憩いと安らぎを与えられる管理と温かいおもてなしの心の運営	・かもがた町家管理組合による食堂事業 ・かもがた町家管理組合による植栽や広場などの施設整備 ・親子のふれあいの場となる事業の実施 ・避難訓練の実施など安全管理の体制づくり
		取組状況
		・親子のふれあいの場となる水遊び場を開設した。 ・かもがた町家管理組合に、交流館の一部を食堂「まちや亭」として貸出し、近隣の方々の憩いの場となっている。 ・交流館食堂、井戸、正門や公衆トイレ等の修繕と高木等の伐採を実施し、園内の保全に努めた。 ・第71回文化財防火デーに合わせて、文化財火災防御訓練を実施した。
	地域に伝わる伝統文化の継承事業の展開	・小学生を対象とした町家塾の開講 ・節句などの年中行事にあわせた事業 ・歴史文化をテーマにした町家公園講座の実施
		取組状況
		・町家塾として、麦稈真田組み・お茶の点て方体験・古代体験（火起こし）・春の七草粥作り等を小学生15名と保護者を対象に年8回実施した。 ・企画展は、伝承館で節句にあわせて雛人形展、五月人形展を開催し、芝生広場で鯉のぼりを展示した。 ・年末年始は、正月の装いで門松や正月飾りを展示した。 ・体験事業では、とんど焼きを開催した。また、大人（おせら）向けの「折紙とむかしばなし」を4回実施した。 ・備中まち並みネットワークの事業として、「お茶の点て方体験」「投扇興体験」「琴の演奏体験」「まち歩き～鴨方往来～」町家で絵手紙作り」を開催した。 ・「まちや寄席」「町家スプリングコンサート」を開催した。 ・小学校の校外学習や高等学校の地域学習の受入れを行った。
阿藤伯海記念公園の円滑な管理・運営	事業の内容	事業概要
	郷土先人である阿藤伯海の顕彰	・阿藤伯海等に関する展示品の管理 ・阿藤伯海に関する資料の作成 ・阿藤伯海記念公園管理組合による展示品や園内の説明
		取組状況
		・阿藤伯海先生の資料を整備し、視覚的に分かりやすい展示説明を行った。 ・阿藤伯海記念公園管理組合により、来園者に対する施設等の案内・説明が実施された。
	文化交流施設として活用される施設の管理運営	・個人や団体への貸館事業 ・阿藤伯海記念公園管理組合との協働事業 ・避難訓練の実施など安全管理の体制づくり

		取組状況
		・市民の文化活動の推進及び相互交流のため、虚白室等の貸館事業を行った。 ・お香講座を開講し、参加者は日本文化に親しむことができた。 ・管理組合の協力のもと避難訓練を行い、消火器の位置の再確認や利用者の避難誘導ルート等を確認するなど安全に対する認識を深めた。 ・流芳の丘や庭園の植物の保守することで、来園者の安全を確保した。 ・第71回文化財防火デーに合わせて、文化財火災防御訓練を実施した。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
文化振興事業数	28事業	26事業

課題・方向性	・かもがた町家公園で実施する事業は、他の教育施設と比較し、歴史的な環境の中で伝統文化を体験できるという点で希少性がある。この点を町家公園のブランドイメージとして確立できるよう、今後も魅力的な事業を計画し、継続的に広報宣伝を行う。 ・かもがた町家公園では、指導員の後継者養成が急務である。指導には培われた知恵が必要となるため、現場での育成の機会を確保する。 ・阿藤伯海記念公園では、管理組合の高齢化と会員減少が進んでおり、若手組合員の加入が喫緊の課題である。
自己評価	自己評価 B ・かもがた町家公園は、かもがた町家管理組合との連携で特色ある管理運営を行うことができた。また、地域住民が地域の歴史、文化、人々の暮らしに親しむ機会を提供することができた。 ・阿藤伯海記念公園では、団体客受入時における対応などを管理組合と連携して行うことができた。 ・かもがた町家公園及び阿藤伯海記念公園では、課題となっている後継者育成や若手組合員増への有効な対策がとれていない。

(参考) 資料3から抜粋

入館者数/年	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
岡山天文博物館	10,225人	8,533人	12,667人	11,916人	13,264人
かもがた町家公園	19,341人	12,232人	21,563人	23,870人	21,222人
阿藤伯海記念公園	1,534人	1,401人	1,474人	1,458人	1,433人

基本方針5 グローバルな感性を育む国際交流の促進

＜基本事業＞国際交流の推進

【担当：ひとづくり推進課】

姉妹都市（豪州・ティーツリ ーガリー市）、友好都市（中 国・高安市）との交流	事業の内容	事業概要
	友好交流による相互 理解	・豪州青少年受入事業（短期・長期）の実施 ・友好訪問団受入事業の実施 ・ビデオ通話等を利用したオンライン交流事業の実施
		取組状況
		・中国江西省へ高校生を9名派遣し、現地で各国の青少年と交流した。（県事業で中国からの招待） ・中国宜春市からの訪問団を受け入れ、交流した。
交流を通しての国際理解	事業の内容	事業概要
	異文化交流による国 際感覚の醸成	・外国人のための日本語講座など多文化共生社会の実現に向けた事業の実施 ・浅口市国際交流協会による定期的な国際理解講座や国際交流フェスティバルの実施 ・浅口市国際交流協会によるアメリカ大学生等ホームステイ受入事業
		取組状況
		・多文化共生社会の実現に向けた事業として、外国人のための日本語講座を実施した。 ・市国際交流協会が実施する外国人等との交流事業「国際理解講座」や国際交流フェスティバル、アメリカ大学生等ホームステイ受入事業を通して、一般市民や子ども達が気軽に外国人等と会話ができる機会を持てるよう支援を行った。

課題・方向性	・海外への往来が新型コロナウイルスの流行前の水準に戻りつつあることから、青少年海外派遣事業についても再開できるよう、検討を進める。 ・在住外国人が増加傾向にあり、多文化共生社会の実現に向けた取組の必要性は増してくるものと考えられることから、市国際交流協会の活動は益々重要となる。市民の主体的な活動や人材育成への支援が求められる。
自己評価	自己評価 B ・中国江西省からの青少年招待事業に市内在住の高校生9名が参加し、現地で各国の青少年と交流することができた。海外への派遣は平成31年度のオーストラリア以来の実施となった。

	・多文化共生社会の実現に向けた事業として、外国人のための日本語講座を実施することができた。 ・市国際交流協会が実施する「国際理解講座」、「国際交流フェスティバル」等については、講師紹介等の支援を行い、多様な講師・テーマで実施された。
--	---

＜基本事業＞国際的に活躍できる青少年の育成

【担当：ひとづくり推進課】

コミュニケーション能力の向上	事業の内容	事業概要
	意思伝達能力の向上	・中学生英語スピーチコンテストの開催 ・豪州青少年受入事業（短期・長期）の実施 ・海外派遣参加者の国際交流事業への参加促進 ・ビデオ通話等を利用したオンライン交流事業の実施
		取組状況 ・中学生英語スピーチコンテストについては、当初の予定どおり実施することができた。また、スピーチコンテストに合わせて、小学生の英語発表を実施した。

課題・方向性	・実際に英語を使う機会やコンテストなどの発表の場があることは、英語学習の意欲向上につながっていると思われる。対面だけでなく、ビデオ通話をはじめとしたオンライン交流事業等の実施により、コミュニケーション能力向上の機会を確保する。
自己評価	自己評価 B ・中学生英語スピーチコンテストについては、当初の予定どおり実施することができた。また、スピーチコンテストに合わせて、小学生の英語発表の機会を設けることができた。

＜基本事業＞国際理解教育の推進

【担当：ひとづくり推進課】

A L Tを活かした英語活動の充実	事業の内容	事業概要
	英語に親しみやすい環境づくり	・ 保育園、幼稚園、こども園での英語活動の実施 ・ 小学生を対象とした初級英会話講座の実施 ・ 英会話動画の作成・公開 ・ A L T 同士の情報交換や共同教材の作成を目的とした定期的なミーティングの実施
		取組状況 ・ 保育園・幼稚園・こども園では、A L T による英語活動を行った。 ・ 6 月から A L T の協力を得て小学生を対象に英会話講座を月 1 回開催したところ、延べ約150人の参加があった。 ・ 時間や場所を問わず英会話学習ができる手段として、A L T による英会話動画をインターネットで公開した。 ・ A L T 同士の情報交換及び意見交換を定期的に行った。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
国際交流事業参加者数	700人	595人
ALTを活用した学校以外の事業数	6事業	6事業

課題・方向性	・ 英会話講座については、引き続き全A L T の協力のもと、小学校での英語教育の内容も考慮しながら、コミュニケーション能力の向上や異文化理解が図られるよう、内容の充実を図る。 ・ 英会話動画の作成についても、時間や場所を問わず英会話学習ができる手段として、引き続きA L T の協力のもと作成を進める。
自己評価	自己評価 B ・ 幼児期から英語に慣れ親しむ環境があり、英語に対する興味・関心が高まっている。 ・ 英会話講座は、子ども達の実践的なコミュニケーション能力の向上や異文化理解に繋がっている。 ・ 英会話動画は、時間や場所を問わず英会話学習ができる手段として提供することができた。

基本方針 6 だれもが活躍できる社会の実現

＜基本事業＞人権啓発、人権教育の推進【担当：ひとづくり推進課】

人権教育の推進	事業の内容	事業概要
	人権問題に関する正しい理解と認識を深めていくための啓発、研修活動の実施	・ 基本的人権が尊重される社会の実現を目指した研修活動等の実施 ・ 市民課、地域創造課等の人権啓発担当課との連携強化
		取組状況
		・ 人権教育推進協議会総会を開催し、人権教育に関わる令和5年度の事業報告並びに令和6年度の事業計画について審議した。 ・ 人権教育指導者養成講座を年5回実施した。
	学校教育、社会教育と連携した人権教育の総合的な推進	・ 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校におけるPTA人権教育の推進
		取組状況
		・ 市立幼稚園・こども園・保育園において、保護者を対象に、ワークショップ形式のPTA人権教育研修会を実施した。 ・ 市立小学校・中学校において、講演会形式でのPTA人権教育研修会を実施した。
人権啓発・教育の指導者リーダーの養成	事業の内容	事業概要
	学校、家庭、地域、職場、関係団体機関など、人権啓発・教育の中心となる指導者・リーダーの養成	・ 学校、家庭、地域、職場などにおける人権啓発・教育のリーダーの養成 ・ 人権問題の正しい知識と理解などについての研修の実施
		取組状況
		・ 人権教育指導者養成講座を実施した。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
人権教育指導者養成講座数	5回以上	5回

課題・方向性	・指導者養成講座について、その時代・時期に応じた課題をテーマとした講座を開催するよう努力するとともに、講座の修了生が継続的に研修できるプログラムの企画・運営や全ての市民の人権が尊重される社会の実現のために、内容や方法を工夫する必要がある。 ・小学校・中学校のPTA人権教育研修会では、参加率を高めるために、研修内容・日程等工夫が必要である。
自己評価	自己評価 B ・人権教育推進協議会総会での計画に沿って、人権教育を推進することができた。 ・それぞれの活動及び研修において、正しい理解や人権意識を高めることができ、参加者が主体的に関わる活動を実施することができた。

基本方針 7 安心して産み育てることができる子育て支援の充実

＜基本事業＞ 出産・育児・保育サポートの充実

【担当：保育未来課】

子育て環境の整備・充実	事業の内容	事業概要
	質の高い保育提供体制の確保	・子ども・子育て支援事業計画の推進 ・幼児教育アドバイザー及び特別支援アドバイザーによる園訪問と保育に関する指導・助言の実施 ・園・小学校の架け橋期におけるカリキュラムの構築と推進 ・公立園における計画的な施設整備と私立園に対する施設整備補助 ・園長会等を通じた各園の連携体制の強化 ・子ども・子育て支援法に基づく、特定教育・保育施設等に対する指導監査の実施 ・保育支援者配置に対する私立園への補助の拡充 ・低年齢児受入れ促進のための私立園への補助 ・国県の補助事業を活用した私立園に対する運営支援 ・公立園のICT化の推進 ・井笠管内における広域入所連携の継続実施
		取組状況 ・子ども・子育て会議を4回開催し、第3期子ども・子育て支援事業計画策定について意見聴取などを行い、計画を策定した。 ・発達支援研修や発達支援アドバイザーによる巡回訪問など行い、保育支援の助言等を行い、若手職員等の保育の質の向上に努めた。 ・公立・私立園長連絡会を1回開催し、令和6年度の研修、就学支援委員会等について説明し、情報交換を行った。 ・私立園に対し、保留児童等の状況や保育士等人材確保に向けた取り組みなどの諸課題についての協議を行った。 ・保育の周辺業務（清掃や配膳、後片付け等）を行う保育士資格を有しない保育支援者を雇用し、保育士等の業務負担軽減や職場環境改善に取り組む6園に対し、補助事業を実施した。 ・保育所・幼稚園・こども園において、外国語指導助手（ALT）による英語活動や運動遊び、リトミック、など感染症対策を講じながら、各園特色をもった事業の取組を行った。 ・施設の環境改善として、鴨方東幼稚園の門扉改修工事や六条院こども園照明器具LED化工事等を行った。 ・井笠管内広域入所連携により、低年齢児の保育の受け皿が拡充された。 ・熱中症対策事業として、備品を導入した私立園に対し、補助金

		を交付した。 ・性被害防止対策に係る設備等支援事業として、備品を導入した私立園に対し、補助金を交付した。 ・業務効率化推進事業として、キャッシュレス決裁に関するシステムを導入した私立園に対し、補助金を交付した。
	保育士等人材の確保・育成	・私立園と連携した園職員の資質向上のための各種研修会の実施 ・保育士等の人材確保のための就職相談会の実施 ・保育士等の雇用促進・人材確保に取り組む私立園への補助 ・市内私立園へ新たに就職する保育士等への就職支援金給付
		取組状況
		・園職員の資質向上のための公開保育研修（公立全6園）、特別支援研修、食物アレルギー研修、若手職員研修や外部講師によるかがやく☆保育者～振り返りステップアップ研修～等を実施した。また、高梁川流域自治体連携事業により、倉敷市保育士・保育所支援センターの協力で実技研修(楽器あそび)を行い、公・私立園延べ170人が研修に参加した。 ・保育等の人材確保のため、保育士等への就職を希望する方のための就職相談会を2回開催し、そのうち2名が市内園への就職に繋がった（市内保育所・こども園全園参加）。 ・保育士等の雇用促進や人材確保のための補助金を私立園3園が活用した。 ・保育士等の市内私立園への就職を支援するため、新たに私立園に就職した保育士等10名に対し、就職支援金を給付した。
	子育て支援サポートの充実	・子育て支援情報の周知・充実（ホームページ、メール配信サービス、子育て通信、子育てガイドブックなど） ・子育てコンシェルジュによる利用者支援事業の推進 ・第3子以降児童の保育料及び給食費補助事業無償化事業 ・病気の回復期に至らない児童を保育する「病児保育事業」の県内施設の広域利用の推進 ・おむつの交換などができる施設に「赤ちゃんの駅」への登録を促し、安心して外出できる環境の整備を推進 ・生活保護世帯等の利用者負担軽減を図る実費徴収に係る補足給付事業 ・無償化対象施設等の利用料給付事業 ・給食費値上げ分を公費負担する学校等給食費高騰対策事業 ・認可保育所等への入所保留者に対する認可外保育施設等利用料補助事業
		取組状況
		・子育て情報冊子として、利用者支援事業を活用し、子育てガイドブックや子育て応援ガイド（概要版）を作成した。 ・平成29年4月1日から「岡山県病児保育事業実施施設の相互利用に関する協定」を締結し、現在、岡山県下25市町村20

		施設の病児保育施設の広域利用が可能となっている。 ・子育てコンシェルジュを配置し、子育てに関する相談対応や情報提供等を行った。子育てコラム【宙～そら～】をHPで発信した。 ・国の無償化制度を拡充し、第3子以降の対象者の拡大や主食費を含む給食費補助を行い、多子世帯への保育料等負担軽減を行った。 ・令和5年度からの給食費値上げ分について、国の交付金を活用し公費負担を行い、保護者の負担軽減を図った。 ・一時預かり事業や認可外施設等子育て支援施設等利用料の無償化として110人に対して給付を行った。 ・認可保育所等への入所保留者に対し、認可外保育施設等を利用する場合の利用料補助を行い、保護者の負担軽減を図った。
	多様な保育需要に応じた保育園・こども園における保育サービスの充実	・未就園児及び在園児（1号認定児）を対象とした「一時預かり事業」の実施 ・日曜・祝日等における「休日保育」の実施 ・園児が病気の回復期であり、集団保育が困難な期間において保育する「病後児保育事業」の実施 ・保護者の多様化する就労形態に対応した「延長保育事業」の実施 ・障害児の処遇向上を図るための「障害児保育事業」の実施
		取組状況 ・公立こども園1園、私立こども園1園で、一時預かり事業（一般型）を実施した。 ・公立幼稚園3園、公立こども園2園、私立こども園2園で、一時預かり事業（幼稚園型）を実施した。 ・休止中の休日保育事業再開に向けて研究した。 ・私立保育所1園で病後児保育事業を実施した。 ・市内全保育所・こども園及び小規模保育事業所1カ所において、通常保育時間の前後に延長保育事業を実施した。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
公立・私立園長会の実施回数	1回	1回
園職員研修(市主催)の実施回数	10回	8回
保育士等の就職相談会の実施回数	2回(継続実施)	2回(継続実施)
障害児保育事業実施施設数	6施設	6施設
保育の確保量	783人	783人

課題・方向性	・第3期浅口市子ども・子育て支援事業計画の着実な推進に向けて、子ども・子育て会議において施策の点検・評価を行い、必要に応じて課題の検討と施策の改善を行う。 ・質の高い教育・保育を提供するため、引き続き各公立園で特色のある事業
--------	---

	を実施していく。 ・保育士等のための就職相談会を開催し、引き続き私立園と連携・協力し、保育人材確保ための取り組みや支援を行う。 ・保育ニーズの高い0～2歳児の保育の受け皿拡充として、井笠管内における広域入所連携による受入施設の拡充や私立園の定員の増加、既存施設の弾力化により可能な限り児童の受入枠の確保に努めている。また、直接的な保育士確保に繋がる保育士等に対する支援金の給付等保育人材の確保方策にも力を入れてきた。しかしながら、入園申込数の増加や保育士等の人材不足などにより、希望園に入所が困難な保留児童が増加傾向となっており、より効果的な対策を引き続き検討していく必要がある。
自己評価	自己評価 B ・浅口市子ども・子育て支援事業計画の計画どおり進められた。 ・子育て支援に関する市民アンケートの結果及び子ども・子育て会議での審議を踏まえ、第3期浅口市子ども・子育て支援事業計画（素案）を作成し、パブリックコメントを経て、令和7年3月に計画を策定した。 ・今年度、保育士等人材不足の影響等により昨年度に引き続き待機児童の発生があった。幼児期の教育・保育の利用ニーズは、今後も増加が見込まれる。保育を必要とする子育て家庭が安心して利用できるよう待機児童の解消に向けての受け皿の確保、保育士等の人材確保などの方策を引き続き実施していく。 ・ホームページやメール配信等を通じて、子育て支援情報の発信や各園の特色ある取組など積極的に周知を図っていくことが今後必要である。

＜基本事業＞放課後児童健全育成事業の充実

【担当：保育未来課】

	事業の内容	事業概要
放課後児童クラブの充実	保護者の就労等による放課後や長期休業日等の児童の安全・安心な居場所の提供と健全育成	・放課後児童クラブの設備改修・環境整備 ・放課後児童クラブの円滑な運営支援 ・放課後児童対策パッケージに基づく放課後児童クラブと放課後子ども教室の校内交流型の推進 ・放課後児童クラブ支援員の資質向上のための研修会 ・放課後児童クラブ支援員の人材確保支援
		取組状況
		・鴨方西小学校児童クラブについて、施設の環境改善のため、児童用ロッカー改修工事を行った。 ・金光竹小学校児童クラブで、長期休業期間のみ支援の単位を増やし、対象小学区外の児童の受け入れを行った。 ・市内小学校で、延べ15回放課後子ども教室を実施し、各小学校

	の放課後児童クラブの児童も参加した。 ・放課後児童クラブ支援員の資質向上を図るための研修会として、備中子どもサポーター育成講座を全4回実施した。 ・放課後児童クラブ支援員の人材確保支援として、児童クラブの職員募集について、市のホームページへの掲載や募集チラシの全戸配布の支援を行った。
--	--

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
放課後児童クラブ支援員研修会の実施回数	4回	4回
放課後児童クラブの確保量	629人	635人

課題・方向性	・放課後児童クラブでは育成支援に従事する放課後児童支援員等の職員確保に苦慮している。職員の人材確保について、児童クラブと協力し、引き続き積極的に求人募集の支援をしていくとともに、国の補助金を活用した放課後児童支援員の処遇改善に取り組む。 ・金光小学校児童クラブ、鴨方東小学校児童クラブ及び六条院小学校児童クラブについて、利用希望者が増加傾向のため、更なる受け皿対策（利用定員や施設の拡大・支援員人材確保等）の検討が必要である。 ・放課後児童クラブでの発達障害児等、支援の必要な子どもの利用も多い。関係機関と連携し、個別の対応や状況に応じた支援体制を整えていく必要がある。 ・放課後子ども教室との校内交流型の推進を図るため、引き続き放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携して事業を実施する。
自己評価	自己評価 B ・利用者の受入ができなかった放課後児童クラブがあった。 ・放課後児童クラブに対し、補助単価の見直し等を行い、適正な運営費の支援を行うことができた。 ・放課後児童クラブ施設内の設備の充実や環境整備・施設整備を計画的に進めていくことができた。 ・放課後児童クラブの施設及び運営に関する基準に基づき、適切な運営指導を行うとともに、引き続き職員の資質向上を行う。

＜基本事業＞遊び・交流の場の整備・充実

【担当：保育未来課】

遊び・交流の場の整備・充実	事業の内容	事業概要
	子どもを育む体験の場と交流の場の充実	・放課後子ども教室等、子どもが様々な活動を経験し、地域の人々と交流できる場の充実 ・戸外活動が困難な時期の子どもの遊び場（ひんやりルーム）の利用促進 ・地域子育て支援拠点事業（私立園）の実施
		取組状況 ・各公民館における週末の体験活動として、地域のボランティアの方々を講師とし、14講座の教室を開催した。 ・校内交流型の放課後児童クラブ・放課後子ども教室を小学校で15回実施した。ボランティアの方を講師に迎え、様々な工作活動や体験活動を実施した。 ・戸外活動が困難な夏休み期間に天草体育館内に「ひんやりルーム」を設置し、親子の居場所を提供した。 ・未就園の乳幼児と保護者を対象として、園庭開放や図書館、つどいの広場などの定期的なイベント情報の発信を行った。

指標	目標(令和6年度)	実績(令和6年度)
ひんやりルーム(夏休み期間の遊び場)利用者数	200人	199人
放課後子ども教室の実施回数(再掲)	15回	15回

課題・方向性	・公民館等の子育て情報コーナーやホームページ、子育て通信などを通じて、未就園児と親子の居場所の情報発信を積極的に行っていく。 ・放課後子ども教室の内容を更に充実させ、子ども達が様々な体験や活動を通して、健やかに成長できるように引き続き支援を行う。
自己評価	自己評価 A ・放課後児童クラブ、放課後子ども教室を小学校内で実施するとともに、学校、地域人材と連携した取組を行うことができた。今後も継続し、より一層充実した取組を進めていきたい。 ・特に夏休み期間など、戸外での活動が困難な時期に、子どもたちが安心して遊び、交流できる居場所として、天草公園体育館を開放し、目標に近い多くの方の利用があった。

IV 浅口市教育委員会評価委員の総合評価（令和6年度事業分）

評価委員 浦上 博文

1. 目標・組織・会議等

教育委員会は、「令和6年度教育行政の基本方針」に基づき、浅口市教育委員会の運営状況、浅口市教育委員会が管理・執行する事務及び「浅口市教育行政の基本方針」に掲げている主要施策の取組状況について、点検・評価活動を適切に実施している。

教育委員会は、毎月1回の定例会を開催するとともに、総合教育会議等で現在の教育に関する様々な重要案件について市長と現状確認や協議、意見交換を行い、共通理解を図った。特に、令和7年度より義務教育学校「寄島学園」を開校したことは、大きな成果である。

2. 学校教育課

評価指標Aの事業が「体育・健康教育の充実」・「デジタル社会に対応した教育の充実」であり、評価指標Bの事業が「確かな学力向上の推進」・「心の教育の推進」である。いずれも適切な評価である。

不登校児童生徒が増加する中、県の事業であるスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・自立応援室等を活用しながら細やかな支援を進めたこと、鴨方中学校・金光中学校に続いて、新たに寄島中学校・金光小学校・六条院小学校にも自立応援室を設けて支援の充実を図ったこと、授業場面でのタブレット端末の活用が増え、また家庭への持ち帰りも日常化し、端末活用が進んでいること、「通学路等交通安全プログラム」に基づき、関係機関と連携して通学路の安全確保を図ったことなどは高く評価できる。

不登校傾向の児童生徒と家庭に対するきめ細かな対処・支援を、引き続き行うことを希望する。

3. 教育総務課

「学校施設の整備・充実」の事業について評価指標をBとしているが、適切な評価である。

財政状況が厳しい中、子どもたちの安全・安心を最優先として、緊急性を要する案件から施設整備及び修繕を行ったこと、各学校・園が必要とする補修・改修に計画的に取り組み、突発的な修繕等についても臨機応変に対応したこと、施設保全計画表に基づき施設点検を行ったことなどは高く評価できる。

更新の時期を迎えつつある施設が多くなっており、中長期的な計画のもと施設整備・充実を進めるよう希望する。

4. ひとづくり推進課

評価指標Aの事業が「生涯学習の充実」・「青少年健全育成団体の活動支援」・「スポーツ推進計画の推進」・「歴史・文化的資源の保全・活用」・「芸術文化活動の振興」であり、評価指標Bの事業が「社会教育施設の整備・充実」・「各種スポーツ団体の育成・支援」・「スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実」・「文化施設の整備・充実」・「国際交流の推進」・「国際的に活躍できる青少年の育成」・「国際理解教育の推進」・「人権啓発、人権教育の推進」である。いずれも適切な評価である。

ボランティア育成講座・ドローン関連事業・スマホ教室のほか、冬GAKUミニサブリを

継続して実施するなど、様々な世代を対象に、時代に即した生涯学習・社会教育を推進したこと、学校や警察署と連携してきめ細かな青少年育成センター業務を行ったこと、岡山天文博物館での事業をすべて実施し、入館者が増加したこと、浅口市マラソン大会を開催し、スポーツ少年団ごとにスポーツ教室を開催して団員数増加を図ったこと、市指定史跡・市指定名勝の景観整備を進め、市指定天然記念物「アッケシソウ自生地」の保護活動を行ったこと、中学生英語スピーチコンテストと同時に小学生による英語発表の機会を設けて、コミュニケーション能力向上の事業を推進したことなどは高く評価できる。

かもがた町家公園・阿藤伯海記念公園については、後継者育成と若手組合員増を図りながら、伝統文化を体験できる事業を引き続き推進するよう希望する。また、岡山天文博物館は、国立天文台・京都大学などと連携して魅力的な事業を展開するよう希望する。

5. 保育未来課

評価指標Aの事業が「遊び・交流の場の整備・充実」であり、評価指標Bの事業が「出産・育児・保育サポートの充実」・「放課後児童健全育成事業の充実」である。いずれも適切な評価である。

第3期浅口市子ども・子育て支援事業計画どおりに推進したこと、放課後児童クラブ・放課後子ども教室を小学校内で実施し、子どもを育む体験・交流の場を充実させたことなどは高く評価できる。

保育の利用ニーズが増加する中、待機児童の解消に向けて受け皿と保育人材の確保に努力すること、利用希望者が増加し職員の人材確保に苦慮している放課後児童クラブに支援・指導を行い、放課後児童健全育成に努めるよう希望する。

6. 総合評価

浅口市の教育目標と7つの教育行政の基本方針に基づき、新たな時代のニーズに対応する各事業を適切に計画及び執行し、令和5年度以上の良好な成果を上げている。また、それらを適切に点検・評価し、今後に向けた課題・方向性も示されている。教育の向上のため、更なる取り組みを期待する。

1. 目標・組織・会議等

人口減少や高齢化の進んでいる浅口市の現状を踏まえた教育目標であり、7つの基本方針に沿った事業を円滑に実施することができる組織体制となっている。総合教育会議で市長と教育現場の課題を共通理解することができたのは高評価である。今後は課題解決に向けた協議の充実を図ることが望まれる。学校訪問は、教育現場の生の声を聴く大切な場である。全校園の施設設備の現状・子どもたちや教職員の現状をしっかりと把握し、早めに対応ができるように努めていただきたい。寄島学園については開校後の現状把握を十分に行い、より望ましい義務教育学校となることを望む。

2. 学校教育課

子ども一人一人がきらり輝く姿を目指して、保育未来課や健康こども福祉課など他の課と連携しながら様々な取組をされたことは高評価である。また、令和4年度に作成した「あさくち未来学」のカリキュラムをもとに地域資源や地域人材を活用したことも、子どもたちの育ちにつながっていくものと考えられる。授業での端末活用も進み、デジタル社会に対応した教育の充実が図られている。一方、学校へ行くことを楽しみにしているかという調査において、中3の生徒の肯定率は昨年より上がっているが、小6の児童は昨年度より下がっていたり、夢や希望をもつ・自己肯定感の向上という調査においても小6の児童は低くなっていたりする部分が少し気になる。教職員が一人一人の子どもに向き合う時間や授業の質を高めるための研修時間の確保、さらには教職員一人一人が心身の健康維持を保つことができるように努めていただきたい。

3. 教育総務課

子どもたちが健康で安全な学校生活を送ることができるよう、施設設備の点検や修理が計画的に行われている。厳しい予算の中、突発的に生じた修繕に対応し寄島学園開校に向けた施設の改修を学校現場と調整しながら行ったことは高評価である。今後も安全点検を定期的に行うよう努めていただき、事故が起きてから対策することのないようにしたいものである。

4. ひとづくり推進課

豊かな人生を育む生涯教育の充実を目指して、幅広い年齢層に応じた事業が行われている。中でもスポーツ教室の開催は目標を十分達成しており、子どもたちの運動能力向上につながるものと思われる。北海道厚岸町とアッケシ草に関する情報交換の場に小学生を参加させたことも、浅口市の歴史・文化的資源への関心を高めることにつながっていくと思われる。今後は保全や後継者育成に関しての課題解決に向けた対策を考えると共に、さらに広報宣伝に力を入れていく必要がある。

5. 保育未来課

保護者の多様な就労形態に対応し、待機児を出さないように保育士の確保や広域入所連携を図っていることは高評価とするが、待機児ゼロに至らないという現状がある。受け皿の確保や様々な子どもたちに対応できる保育士等の人材確保に努め、保護者が安心して子育てできるよう努めていただきたい。厳しい暑さの中、子どもたちが安心して活動できる場として、天草公園体育館を開放したことは保護者のニーズに合ったものと思われる。ぜひ浅口市で子

育てをしたいと思われるような魅力ある子育て支援事業の実施を期待する。

6. 総合評価

「郷土あさくちを愛し、心豊かにたくましく、未来を拓く人づくり」をめざし、各課が7つの基本方針に沿って連携を図りながら様々な事業を計画・実践されていた。すべての事業がB以上の自己評価となっており、課題も明確にされていることは高評価である。次年度は、明確になった課題解決に重点を置き、より望ましい事業実施となることを期待する。

1. 目標・組織・会議等

浅口市の教育目標「郷土あさくちを愛し、心豊かに たくましく、未来を拓く人づくり」を達成すべく各課より説明された、基本方針・基本事業・事業内容・事業概要をみるかぎり、現実在即した非常に具体的な事業が展開されているという印象を受けた。その意味では目標設定が適切であることがうかがえる。

組織についても、機能不全の報告はなかったので、概ね適切に設定・運用されているものと想像する。

教育委員会定例会が月1回、滞りなく開催されていることは評価できる。また、臨時会の開催がなかったということは、緊急の案件がなかったということで、年度当初の計画等が適正であったことと、市の教育行政が適切に行われていたことを裏付けるものと判断できる。

教育委員会の学校園訪問・教育委員会議以外の活動状況とも、活発に開催・出席されており、市内外の教育実態・教育情報の把握に努められていることがうかがえ、高く評価できる。義務教育学校「寄島学園」を令和7年度に開校できたことも、大いに評価できる。

2. 学校教育課

学力向上、心の教育、健康、デジタル対応等々、成果が単年では現れにくい事業を数多く担当している。従って評価も軽々しくできるものではない。そのような中で、数値化できる指標を明確に設定して達成に向けて努力していることは評価できることである。i-check等、客観性と説得力のある調査に予算を配分して実態把握と改善に努められていることに関しても評価したい。しかし、非認知能力の重要性も見直されている昨今、児童生徒理解に関して一層の配慮が必要と思われる。

デジタル社会対応事業に関しては数値目標を大きく超えており、Aという自己評価にも納得できる。しかし、近年、デジタル教育先進国かつ国際学力調査でトップクラスを維持してきた国の中には、教育における脱デジタル化に舵を切りつつある国も見受けられる。デジタル教育のメリット・デメリットを検討しながらの事業推進が望まれる。

体育・健康教育に関して、従来の性教育に加えて最近性は性の多様性に関わる指導も重要になっている。県が発信している啓発資料や職員ガイドブック等を参考に、積極的な事業展開を望む。

「浅口市通学路交通安全プログラム」による合同点検が実施されている。教育関係や保護者だけでなく、警察機関、補導組織等との連携でこどもの通学路の安全保障を高める事業は大いに評価できる。交通事情は日々変化していくので、プログラム自体のアップデート作業も継続されたい。

3. 教育総務課

学校園の施設管理は安全・安心の要である。数々の施設改修・器具修繕等に取り組まれており、大いに評価できる。また、照明器具LED化工事も喫緊の課題であり、積極的に取り組まれていることがよく分かる。DEIに対応した施設改善も継続・充実されることを望む。

4. ひとづくり推進課

ひとづくり推進課所管の事業は多岐に渡っており、点検・評価報告書からもその努力のあとがうかがえる。

市の強みである天文施設の特色を生かした事業が数多く展開されており高く評価できる。今後もますます充実発展されることを望む。

点検・評価報告書を観るかぎり、他の事業に比べてスポーツに関わる事業がうすい印象を受ける。自己評価 A に相応しい記述内容・量を望む。

歴史・文化的資源、芸術文化活動、文化施設とも、旧 3 町時代からそれぞれ特色があり、その特色を生かしながら調和を図りつつ事業を執行することは非常に困難を伴うと想像されるが、よく努力されており大いに評価できる。

国際化に関しては、市内誘致企業で働く外国出身労働者を多く見かける。人材活用を図ることで、交流がさらに進むのではないかと想像する。

人権教育・啓発に関しては、市民課、地域創造課との連携強化が謳われている。マトリックス会議等、市行政を挙げて一貫性のある事業展開を望むところである。

5. 保育未来課

市内私立園の保育士等への就職支援金給付、多子世帯への保育料等負担軽減、給食費値上げ分の保護者負担軽減、子育て支援施設等利用料無償化、認可外保育施設等利用料補助など、必要なところへ必要な施策を講じている印象を持った。少子化がますます進むと予想される近未来、「基本方針 7 安心して産み育てることができる子育て支援の充実」は、最重要課題の 1 つである。しっかり検討された各事業が、今後もさらに充実・執行されることを望む。

6. 総合評価

限られた予算、限られた時間、限られた人員のなかで各課とも懸命の努力を積み重ねている印象を得た。自己点検・評価も、明確な数値目標の下に取り組まれており、判断も信頼できる。

教育関係は数値化できない目標や結果も多々あるので、そのあたりをどう評価し生かしていくかということも検討しながら、今後もよりよい教育行政が展開されることを望む。

【資料1】 令和6年度 園児・児童・生徒数（令和6年5月1日現在）

種別	学校名	区分	1年 (0歳児)	2年 (1歳児)	3年 (2歳児)	4年 (3歳児)	5年 (4歳児)	6年 (5歳児)	計
保育園	竜 南	園児数	0	7	11	9	6	9	42
		学級数		1	1	1		1	4
	合計	園児数	0	7	11	9	6	9	42
		学級数		1	1	1		1	4
こども園	六 条 院	園児数	-	-	-	26	23	40	89
		学級数	-	-	-	2	1	2	5
	寄 島	園児数	3	12	17	15	18	18	83
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	合計	園児数	3	12	17	41	41	58	172
		学級数	1	1	1	3	2	3	11
幼稚園	金 光	園児数	-	-	-	13	16	18	47
		学級数	-	-	-	1	1	1	3
	鴨 方 東	園児数	-	-	-	13	16	7	36
		学級数	-	-	-	1	1	1	3
	鴨 方 西	園児数	-	-	-	5	7	7	19
		学級数	-	-	-	1		1	2
	合計	園児数	-	-	-	31	39	32	102
		学級数	-	-	-	3	2	3	8
小学校	金 光 竹	児童数	8	11	8	8	5	7	47
		学級数	1	1	1	1	1		5
	金 光	児童数	51	62	72	58	62	64	369
		学級数	2	2	2	2	2	2	12
	金 光 吉 備	児童数	22	28	27	22	24	28	151
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	鴨 方 東	児童数	61	37	60	49	42	53	302
		学級数	2	2	2	2	2	2	12
	鴨 方 西	児童数	14	19	13	20	10	22	98
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	六 条 院	児童数	61	35	48	52	44	63	303
		学級数	2	1	2	2	2	2	11
	寄 島	児童数	17	18	12	25	27	24	123
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	合計	児童数	234	210	240	234	214	261	1,393
		学級数	10	9	10	10	10	9	58
中学校	金 光	生徒数	79	90	98	-	-	-	267
		学級数	3	3	3	-	-	-	9
	鴨 方	生徒数	119	149	136	-	-	-	404
		学級数	4	4	4	-	-	-	12
	寄 島	生徒数	21	23	23	-	-	-	67
		学級数	1	1	1	-	-	-	3
	合計	生徒数	219	262	257	-	-	-	738
		学級数	8	8	8	-	-	-	24

【資料 2】 令和 6 年度 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校及び教職員の研修一覧

1 市研究指定校について

	指定期間	研究指定事業名	教科・領域	指定校名	指定区分	発表会等期日
1	令和 5 ～ 令和 6 年度	中教研浅口支会指定	主体的・対話 的で深い学 びの充実 ～自ら学び表 現する活動を 通して～学 級経営	金光中学校	中教研 浅口支会	R6. 11. 8

2 教職員研修

	研修名	対象校	対象者	希望・悉皆別	開催日	日数	備考
1	令和 6 年度合 同若手教員研 修会	小学校・中学校	初任者教員	悉 皆	R6. 8. 2	1	市・井原市・里 庄町・矢掛町・ 早島町
2	架け橋期のカ リキュラム研 修	保育園・幼稚 園・こども園・ 小学校	各校園の代 表者	—	R6. 8. 6 R7. 1. 10	2	延べ 39 人 (私立園含む)
3	令和 6 年度合 同中堅教員研 修会	小学校・中学校	中堅教員等	希望者	R6. 8. 2	1	市・笠岡市・井 原市・里庄町・ 矢掛町・早島町
4	公開保育研修	保育園・幼稚 園・こども園・ 小学校	各校園の職 員	希望者	R6. 6. 5 R6. 6. 11 R6. 7. 4 R6. 7. 12 R6. 10. 23 R6. 10. 25	各 1	延べ 45 人 (私立園含む)
5	保育補助者研 修	保育園・幼稚 園・こども園	各園の職員 (生活支援 員)	悉皆	R6. 8. 23	1	14 人 (私立園含む)
6	特別支援教育 支援員研修	市内小中学校	各校の職員 (生活支援 員等)	希望者	R6. 6. 27	1	32 人

7	食物アレルギー研修	保育園・幼稚園・こども園・小中学校	各校園の職員	希望者	R6. 7. 17 R6. 7. 31	2	24 人 (私立園含む)
8	若手職員研修	保育園・こども園	経験年数 5 年目までの職員	希望者	R6. 6. 11 R6. 11. 21 R7. 1. 28	3	延べ 15 人 (私立園含む)
9	かがやく☆保育者～振り返りステップアップ研修～	保育園・幼稚園・こども園	経験年数 5 ～ 10 年目程度の職員	希望者	R6. 7. 30	1	9 人 (私立園含む)
10	特別支援研修	保育園・幼稚園・こども園	各園の職員	希望者	R6. 6. 28 R6. 8. 19 R6. 10. 28 R7. 1. 29	4	46 人 (私立園含む)
11	実技研修 (楽器あそび)	保育園・幼稚園・こども園	各園の職員	希望者	R6. 9. 3	1	9 人 (私立園含む) 高梁川流域自治体連携事業

【資料3】 令和6年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧

◇令和6年4月1日～令和7年3月31日

所管課・室	施設名	利用者数	備考
ひとづくり推進課	中央公民館	38,283人	
	鴨方図書館	12,925人	蔵書数 141,859 冊
	天草公園(体育施設)	69,015人	体育館・武道館・野球場・テニスコート・子どもと老人の広場
	ふるさとかもがたプラザ	32,438人	
	鴨方B&G海洋センター	9,501人	6月～9月まで開館
	岡山天文博物館	13,264人	
	かもがた町家公園	21,222人	伝承館:1,000人
	阿藤伯海記念公園	1,433人	
金光分室	金光公民館・市民会館金光	27,440人	
	金光さつき図書館	11,125人	蔵書数 61,339 冊
	遙照山総合公園	6,238人	
	金光駅西公園	14,011人	
	金光スポーツ公園	29,323人	
寄島分室	ふれあい交流館サンパレア	10,752人	
	寄島公民館	1,391人	
	寄島東公民館	5,834人	
	寄島図書館	4,189人	蔵書数 28,547 冊
	寄島東体育館	7,345人	
	寄島武道館	6,683人	
	寄島B&G海洋センター	7,924人	
	寄島運動場	3,943人	
	寄島テニスコート	2,951人	
	三ツ山スポーツ公園	46,864人	
	フットサル場	11,406人	

【資料 4】 令和 6 年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績

【ひとつづくり推進課及び分室】

事業名		期間回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容等
生涯学習推進事業	漢字検定	年3回	一般	日本漢字能力検定協会準会場	6/29 44人 11/2 41人 1/25 48人 金光公民館にて実施
	英語検定	年1回	主に小・中学生	日本英語検定協会準会場	1/25 39人 中央公民館にて実施
	老人大学（金光地区） 天草学級（鴨方地区） シーサイド大学（寄島地区）	年9回程度	概ね65歳以上の市民	趣味、教養、健康体操、レクリエーションなど	金光26人、鴨方58人、寄島76人 各公民館6～9回程度のバラエティに富んだ講座を開催
	プログラミング教室	1回	小学3～6年生	プログラミングの体験。アクションゲーム、シューティングゲームを作成する。	市内 7/13 11人
	ボランティア育成講座	25回	中学生、高校生	ボランティア活動を通じた学び場事業	受講生：中学生 24人 高校生 1人 ボランティア活動を通じて、参加者の能力向上及びボランティア人材の育成を目的とした講座
	浅口市ドローンフェス	年1回	一般	一般社団法人ジャパンドローンリーグによるドローンレース全国大会と市民が参加できるイベントを実施。	8/17, 8/18 来場者 約 1,000 人
	ドローンレースクラブ	月2回	市内小学4年生以上	ドローンに関する知識や法律を学びドローン操作に親しみながら、ドローンレーサーを目指す。	受講生 14人

	「999 ひきのきょうだい」のひみつの話とおもちゃ	年1回	読み聞かせボランティア、子どもに携わる活動をしている人	絵本作家を講師に招き、子どもと簡単に作れる手作りのおもちゃのワークショップなどを実施。	6/5 28人 中央公民館にて実施
家庭教育関係事業	親育ち応援学習プログラム	年7回	保護者	参加者同士がプログラムを進める中で、自分自身の問題に気付き、保護者としてのあり方や役割について考え、整理するきっかけ作りの場の提供	学童期子育て講座・就学時健診等を利用した子育て講座 市内7校 延べ222人
青少年育成事業	二十歳の集い	年1回	H16.4.2 ～ H17.4.1 生まれ	式典 記念写真	1/12実施 金光101人、鴨方119人、寄島40人参加
	浅口市青少年育成活動協議会研修会	年1回	教職員 PTA 警察 協議会委員 指導員 等	親や地域の青少年に携わる大人に対して、現代社会における課題についての研修	3/1実施 参加者数 140人 和太鼓披露、明るい家庭づくり作文優秀作品発表、講演会
	街頭キャンペーン	7月・11月	一般	青少年健全育成啓発活動	7/10, 11/ 13 J R鴨方駅・J R金光駅周辺で実施
	子ども週末体験活動	年間週末	園児、小・中学生	体験活動	ウィークエンドわくどき体験 中央公民館 7講座 計98人 ※文化庁補助 265千円 金光さつきっ子教室 金光公民館 4講座 計50人 ※文化庁補助 0円 三つ山っ子教室 寄島公民館 4講座 計26人 ※文化庁補助 180千円
	夏GAKUサブリ	7月 3公民館	小・中学生	学習講座	中央公民館 29教室 延べ520人参加 金光公民館 14教室 延べ260人参加 寄島公民館 7教室 延べ189人参加
	冬 GAKU ミニサブリ	12月	小・中学生	学習講座	中央公民館 10教室 延べ130人参加 金光公民館 6教室 延べ 71人参加 寄島公民館 4教室 延べ 58人参加
	少年少女合唱団 ひまわり	年間	小学生	月2回	団員 9人 毎月第1・3土曜日 10:00～11:30 ひまわりコンサート開催 (3月)

	浅口市青少年育成指導員連絡協議会	年間	指導員	定例補導・特別補導・列車補導	定例補導：年40回 特別補導：年 6回 列車補導：年18回
人権教育推進事業	人権教育指導者養成講座	年5回	受講申込者	講義	参加者 331人 6・7・8・11・12月の5回実施 人権問題の正しい知識と理解等について学習した
	PTA 人権教育研修会	小・中学校各1回	PTA会員	講演会	市内7小学校、3中学校においてPTA対象に実施
	保育園・幼稚園・こども園PTA人権教育研修会	各園各1回	PTA会員	ワークショップ	208人 8回開催 10月竜南、11月鴨方西・寄島、1月金光（2回）・六条院（2回）・鴨方東
地域学校協働活動推進事業	学校支援ボランティア活動	年間	園、小・中学校	学校からの要請に応じて支援者の派遣	各学校からの要請に応じて学校支援ボランティアが活動
	放課後子ども教室	年間	小学生	体験活動	市内7小学校で15回開催 約149人参加 （ニュースポーツ体験教室を含む）
スポーツ振興事業	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	通年	一般		NPO法人あさくちスポーツクラブの活動を支援
	スポーツ少年団育成支援事業	通年	スポーツ少年団	4月 入団式 12月 スポーツテスト交流大会	入団式及びスポーツテスト交流大会を通じて、団員及び指導者相互の親睦を図る。
	市民体育祭	5・9・10月	一般	旧町毎に実施	金光 5/26開催 1,000人参加 鴨方 9/29開催 800人参加 寄島 10/13開催 800人参加
	浅口市マラソン大会	12月1回	一般		12/8 完走者957人
	ナイターソフトボール大会	5・6月	一般		5/9～6/4 6チーム約90人
	リレーソフトボール大会	7月1回	一般		7/7 参加チームのリレーにより長時間の試合を行う（今年度は27回まで実施）
	体力テスト交歓大会	12月1回	スポーツ少年団員		51人参加

	ニュースポーツ 体験教室（放課 後子ども教室）	12月 3回	小学生	ニュースポーツの体 験教室	12/5 17人（金光小学校） 12/10 8人（鴨方東小学校） 12/11 4人（鴨方西小学校）
	ナイターペタン ク大会	7月 1回	一般	ペタンク	7/6 52チーム106人
	フットサル大会	5・11月	一般	フットサルのリーグ 戦	春大会 10チーム 計104人 秋大会 8チーム 計84人
	あさくちスポー ツフェスタ	3月 1回	一般	参加型スポーツイベ ント	3/16 参加者延べ人数748人
図 書 館	こどもの読書 週間	年1回	幼児・児童	こどもの読書週間 企画	【金光さつき】 4/20 みんなのおはなし会 子ども10人、大人4人 4/10～5/30 本のおたのしみ袋 29袋 【鴨方】 ※空調工事のため休館 4/15～6/18 【寄島】 4/23～5/30 かくれん本 160冊 ※好評のため、6/23まで延長
	読書週間	年1回	すべて	秋の読書週間企画	【三館合同企画】 「この一行に逢いにきた」 10/1～11/28 本の中の1行を取り出し、書名が わからないようにして借りてもら 【寄島】 10/1～11/29よく借りられた本の ランキング表を展示
	図書館巡回展示	年1回	すべて	3館巡回展示	「恐竜ってなに？」 【金光さつき】 10/1～10/30 【鴨方】 令和4年度開催済 【寄島】 8/1～8/29
	出張読み聞かせ	随時	幼児・児童	幼稚園・小学校への 出張おはなし会	【金光さつき】 要請に応じて実施 【鴨方】 〃 （にじの会の協力） 【寄島】 〃
	ぬいぐるみのお とまり会	年1回	幼児・児童	ぬいぐるみのおとまり 会	【金光さつき】 9/28～9/29 子ども4人、大人3人 【鴨方】 2/15～2/16 子ども6人、大人3人 【寄島】 10/20 子ども6人、大人4人
	クリスマスおた のしみ会	年1回	幼児・児童	クリスマスおたのし み会	【鴨方】 12/21 子ども13人 大人3人 【寄島】 12/22 子ども16人 大人14人

	夏休み企画	年1回	すべて	夏休み企画展示	【金光さつき】 7/28 映画会「映画 すみっコぐらし・青い月夜のまほうのコ」 40人 おはなし会 子ども13人、大人10人 チャレンジくじ 29人 8/7「図書館の仕事を体験しよう！」 (市内小学4～6年生対象) 4人 【鴨方】 「妖怪がいっぱい」展示 7/17～8/29 「なりきり妖怪」子ども13人 大人10人 「ストーリーテリング」子ども11人 大人7人 8/17「おはなし会」子ども9人 大人4人 【寄島】7/27 お楽しみ会 子ども13人 大人9人 ※パネルシアター・工作・おはなし会 8/17 夕方のおはなし会 子ども3人 大人3人
	親子講座（鴨方）	年1回	幼児・小学生親子・一般	親子・ボランティア交流講座	【鴨方】 11/3 特別講座「南極クラス」 37人 11/3～11/17 関連本・資料コーナー
	雑誌市（金光）		一般	雑誌の領布	【金光】 3/15 100人
	映画会（寄島）	年2回	一般	映画上映	【寄島】 9/20 7人 3/21 7人

事業名		期間 回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容等
文化・芸術関係事業	文化財講座	年1回	一般	文化財を通じて地域の歴史や文化について学ぶ	9/14 「緑のアグシソウを楽しむ会」 33人
	おかやま民俗芸能フェスティバル2024	年1回	一般	県内各地に伝わる民俗芸能（指定無形民俗文化財）の鑑賞会。	11/24 300人
	古典文学講座 「源氏物語」と紫式部	全2回	一般	「源氏絵」の魅力を知り、源氏物語の絵画化された場面を鑑賞する。	12/1 12/15 14名
	総合文化祭	年1回	一般	市民による芸術文化の発表	10/19, 10/20（鴨方・寄島） 10/26, 10/27（金光） 来場数：金光会場約900人、鴨方会場約950人、寄島会場約450人。
	金光遙照太鼓伝承教室	年間	小・中学生、高校生	郷土の文化伝承	5～3月の間、毎週火曜日の夜を中心に活動をした。受講者数16人
	金光キッズフェスティバル	年1回	金光地区園児、小・中学生	学校・公民館・地域での学習成果の発表	12/15 展示の部 22団体延べ568人参加 舞台の部 16団体延べ279人参加
	岡山県青少年江西省訪問プロジェクトへの参加	年1回	市内在住の高校生	中国江西省への青少年訪問事業	8/18～8/24（6泊7日）で高校生9名が参加。現地での青少年交流のほか、企業訪問などを実施。
	中学生英語スピーチコンテスト	年1回	市内在住在学中中学生	中学生の英語スピーチコンテスト	10/31 創作の部 8組9名 暗唱の部 15人 9組9名 計18人が出場
	初級英会話講座	月1回	小学5・6年生	ALTによる小学生向け英会話講座	6/12, 7/10, 8/28, 9/11, 10/9, 11/13, 12/11, 1/8, 2/12, 3/12 各回約15人、計約150人
	外国人のための日本語講座	月1回	市内在住在勤在学の外国人	在住外国人向けの日本語講座	（金光公民館）6/9～第1日曜日 各回約12人、計約120人
	英会話動画の公開	年間	一般	ALTによる英会話動画の作成とインターネットによる公開	第1話「自己紹介をしてみよう！」公開 第2話「浅口市を紹介しよう！」公開
岡山天文博物	こども天文クラブ	年7回	小学4～6年生	年間を通して天文・宇宙についての基礎知識の習得を目指すクラブ活動	7/6, 8/17, 9/14, 10/20, 11/30, 1/18, 3/15 クラブ員11人

館事業	188cm反射望遠鏡市民向け観望会	年2回	一般	188cm反射望遠鏡を使った市民向け観望会	※ドーム故障によるメンテナンスのため、利用停止。
	せいめい望遠鏡電視観望会	4回	一般	せいめい望遠鏡を使った電視観望会	5/18 36人, 8/25 32人, 12/8 23人, 3/9 27人
	ちびっこ ぷらねたりうむ	月2回	乳幼児と保護者	こども向けプラネタリウム投映とお話会。投映中も出入り自由	毎月土曜日を中心に月2回 計24回開催 のべ438人参加
	かがく広場	年3回	小学生	身近なものを使った実験や工作を通して科学の不思議を学ぶ。	9/21「ドライアイスであそぼう」 12/7「エナジースティックであそぼう」 1/26「ビリリン！静電気であそぼう」 のべ24人参加
	望遠鏡を作ろう！	年1回	一般	望遠鏡キットを使って望遠鏡作り	7/20 27人
	七夕企画「ほんの少し星に近いところからあなたの伝えたい想いを叶えます」	年1回	一般	メッセージを預かって星のパワーを込め、七夕に間に合うように郵送する。	ホームページでのコンテンツ配信で継続
	君も望遠鏡博士になろう！～188cm&せいめい望遠鏡見学ツアー～	月2回	一般	天文台ドーム内でのガイド付き見学ツアー	計14回開催予定 参加者 のべ78人参加 ※188cmドーム故障によるメンテナンスのため、188cmツアーは中止。
	天文台のまちあさくちPR事業	開館時	一般	スマホやタブレットを使って楽しむ展示	バーチャルで3.8m新望遠鏡と天文台の操作を楽しめる展示。 既存展示の説明をWebコンテンツで見られる展示。
		開館時	一般	タッチパネル式で天文クイズや宇宙旅行を体験	初級から上級までコースを選んでクイズに挑戦。 惑星めぐりや宇宙の果てまで、好きな宇宙旅行が楽しめる。
		開館時	一般	定点カメラを通して3.8m新望遠鏡を観察。	ツアーに参加できない来館者がモニターを通じてドーム内の様子を見ることができる
		開館時	一般	大型モニターによる展示	液晶パネル4枚を組み合わせたマルチスクリーンシステムにタッチパネルを搭載し、触って遊べるコンテンツ。
		年2回	一般	望遠鏡の使い方の説明、季節の星座の観望	8/10 「夏の観望会」44人 12/14 「冬の観望会」26人

		1回	一般	ライトダウンキャンペーン	光害を周知するため、旧暦七夕にあわせてライトダウンキャンペーンを実施
		年間	一般	天文台PR動画「天文王国おかやま あさくちチャンネル」の公開	せいめい望遠鏡で撮影した天体画像など、スタッフの解説付きでYoutubeで配信および展示室等で公開
	学校連携事業	年2回	中学生	中学校と連携し、国立天文台188cm望遠鏡での観測実習および博物館で体験実習を実施	※188cmドーム故障によるメンテナンスのため、188cmでの観測実習は中止。
			大学生	岡山理科大学博物館実習	10/12, 10/26, 11/2 4人
	企画展「ミニミニ恐竜パーク」	夏休み 8/1～ 9/1	一般	プラネタリウム夏番組にあわせて恐竜をテーマに企画展を開催	2,581人
	冬のこどもまつり	年1回	一般	家族やこども向けの工作やイベントを実施	1/13 348人
	プラネタリウムコンサート	年1回	一般	星空解説と生演奏	6/16 七夕・星空コンサート 36人 12/15 クリスマスコンサート 34人 ※産業振興課との連携事業
	星空ヨガ	年2回	一般	プラネタリウムの星空の下でヨガを開催	4/20 14人, 9/28 11人 ※産業振興課との連携事業
	講演会等	年2回	一般	岡山天文台講座	2/15 「激変する空飛ぶ円盤―激変星」22人
			一般	宇宙☆自然講座	11/9 「陰陽師安倍晴明と浅口市」18人
	岡山天文博物館開館記念事業「あさくち天文台フェスタ」	1回	一般	京都大学、国立天文台と共催で、講演会や工作、クイズラリーなど、大人からこどもまで楽しめるイベントを開催	10/25 150人
かもがた町家公園事業	町家塾	年間	小学 1～6年生	郷土の文化伝承	6/22 真田組み体験・昔話 32人 7/13 昔話と七夕かざり作り 40人 8/3 お茶の点て方 26人 10/5 投扇興体験 35人 11/9 古代体験(火起こし体験・鋳造体験) 35人 12/7 神楽にふれよう 61人 1/18 春の七草粥とカルタ 40人 2/15 ひな人形作り 24人 ※参加人数は保護者等を含む

	まちや茶会	年3回	一般	かもがた町家管理組合文化部による茶会	6/2 130人 9/16 観月茶会 172人 2/23 150人
	昔の道具展	年1回	一般	昔の道具を展示	4/29、5/3～5/4
	昔体験	年1回	一般	子どもたちを対象とした昔体験	4/29、5/3～5/4
	まちや映画会	年5回	幼児、小学生とその保護者	幼児、小学生とその保護者を対象とした昔話の映画会	7/28 8人, 8/4 9人 8/11 0人, 8/18 6人, 8/25 4人
	まちや寄席	年1回	児童、一般	岡山大学落語研究会等による寄席	2/9 50人
	町家☆Stories	年1回	一般	星にまつわる話の朗読会	中止
	おせらの折紙とむかしばなし	年4回	一般	大人向けの折紙教室と昔話を語る会	6/5 15人, 9/4 10人 12/4 10人, 3/12 6人
	町家で投扇興体験	年1回	一般	江戸時代の庶民の遊び投扇興の体験	11/3 34人
	町家で琴はじめ	年1回	一般	初心者でも楽しめる琴の演奏体験	11/10 3人
	お茶の点て方体験	年1回	一般	かもがた町家管理組合文化部による気軽に参加できるお茶の点て方体験	11/24 17人
	鴨方まち歩き	年1回	一般	当時の面影をしのばせる鴨方往来を巡る	11/24 28人
	町家で絵手紙作り	年1回	一般	町家の植物などを題材に絵手紙を作る。	11/4 20人
	季節の行事企画展	年間	一般	節句等の伝統的年中行事の企画展示	4～5月 五月人形展示 年末年始 門松・正月飾り 2～3月 雛人形展示
	とんど焼き体験	年1回	一般	伝統行事であるとんど焼き体験	1/11 80人
	町家でむかしむかし	年1回	一般	地域に伝わる昔話を聞き、歴史や伝統文化について享受する	3/30 13人
	町家スプリングコンサート	年1回	一般	町家で聴くクラシック音楽のコンサート	3/16 81人

阿藤伯海公園事業	所蔵作品展	年間	一般	阿藤伯海先生等の資料展示	阿藤伯海先生や画家阿藤秀一郎氏の郷土先人に関する資料の常設展示
	日本文化講座 お香に親しむ～香道入門	全2回	一般	芸術文化事業として、日本文化の一つである香道にふれる	1/30, 2/13 12人 香道の基本的な所作を学び、代表的な組香「五葉香」を体験
資料館事業	鴨方郷土資料館	年間	一般	郷土資料の常設展示	郷土先人の絵画資料、考古資料、麦稈真田や製麺製造関連の民俗資料の展示
	金光歴史民俗資料館	年間	一般	郷土資料の常設展示	郷土先人等に係る歴史民俗資料展示
	寄島郷土資料館	年間	一般	郷土資料の常設展示	郷土先人の考古資料等の民俗資料展示

【公民館講座】

事業名		期間・回数	対象	開催日・実績・内容等
浅口市中央公民館	ゼロから始める暮らしのペン・筆ペン習字	第2・4土曜日	市内在学 市内在勤 市内在住	受講生20人 ペン・筆ペン習字を基礎から学ぶ
	楽しい中国語	毎週日曜日		受講生8人 日常会話の基礎や中国の習慣などを学ぶ
	楽しい陶芸	第4火曜日		受講生10人 土の手触りを楽しみながら器などを作る
	基礎から学べる詩吟	第1・3火曜日		受講生8人 姿勢や発声を学びながら詩歌吟詠のすばらしさを体験する
	やさしい水墨画	第1・3金曜日		受講生6人 構図の基本や墨の濃淡など基本技術から作品製作までを学ぶ
	やさしい実用書道	第2・4日曜日		受講生7人 かい書、行書の基本を学習し、書に親しむ心を大切に、書く喜びを楽しむ
	楽しい韓国語	毎週水曜日		受講生9人 読み・書き・話すといったコミュニケーション全般を基礎から学ぶ
	手打ちそば入門	第2・4日曜日		受講生13人 コネ・延ばし・そば切りなどの行程を学ぶ

	大人可愛い半幅帯の結び方と浴衣の着付け	6 回	市 内 在 住 在 勤 在 学	6/29, 7/4, 7/6, 7/11, 7/13, 7/18 受講生 13 人 半幅帯の結び方と浴衣の着付けを学ぶ
	もしもお琴が弾けたなら はじめてのお琴講座	6 回		10/11, 10/18, 11/1, 11/8, 11/15, 11/22 受講生 7 人 お琴の基礎を練習し、「さくら」と「お江戸日本橋」を修得する。
	フリマアプリを学ぼう 「メルカリ講座」	2 回		第 1 回「はじめてのメルカリ講座」 12/18 13 人 第 2 回「メルカリ講座 実践編」 3/18 16 人
金光公民館	庭木の手入れ入門	第 4 土曜日	市 内 在 住 在 勤 在 学	受講生 15 人 剪定の仕方、農薬の使い方を学び丸山公園などでの実施講習
	絵手紙入門	第 4 木曜日		受講生 15 人 初心者の方から自分の個性を生かした作品づくり
	英会話入門	第 2・4 火曜日		受講生 20 人 初歩からの英会話を学ぶ
	男の料理入門	第 2 日曜日		受講生 9 人 ご飯の炊き方から味噌汁、煮物の料理までを学ぶ
	木工入門	第 2・4 金曜日 第 2・4 土曜日		受講生 8 人 お皿やお盆、いろいろな作品にチャレンジ
	ランチタイムで世界旅行	第 4 土曜日		受講生 11 人 身近な材料で世界各国の料理を学び旅行気分を味わってみませんか。
	簡単ランチとスイーツ入門	第 4 日曜日		受講生 6 人 季節のスイーツを 2 品と簡単なランチの作り方を学ぶ。
	アロマのある暮らし	第 2 土曜日		受講生 15 人 アロマを生活の中に取り入れて活用する方法を楽しみながら学ぶ。
	バランスボールエクササイズ	第 3 木曜日		受講生 人 バランスボールを使って楽しくエクササイズをして、健康増進に努める
	スマホで楽しく SNS	3 回		6/27 第 1 回 17 名 7/25 第 2 回 23 名 9/26 第 3 回 20 名 SNS を安全に楽しく使いこなすための講座。毎回テーマを変えて開催する。

	ランチタイムで世界旅行	1 回		3/22 24 人 公民館講座のお試し企画 身近な材料で世界の料理を作ろう
	楽しいヘルシークッキング	1 回		3/23 24 人 R7 年度開始新講座のお試し企画 身体と心に優しい料理を身近な材料で手軽に作ろう
	年末恒例！年越しそば打ち	1 回		12/27 受講生 12 人
	金光おこわを作ろう	1 回		3/5 受講生 17 人 金光特産の青大豆を使った金光おこわをつくる
	春をさきどり アロマフレグランスを作ろう	1 回		3/8 受講生 10 人 香で春の先取りをしよう
寄島公民館	スマートフォン教室	2 回	市内 在住 市 在 在 勤 学	3/18 第 1 部 受講生 5 人 3/18 第 2 部 受講生 12 人
	ガーデニング	第 3 金曜日		受講生 9 人
	ヨガ	第 2 木曜日		受講生 24 人
	手話	第 1・3 火曜日		受講生 6 人
	和太鼓	月 2 回		受講生 4 人
	茶道	第 4 土曜日		受講生 4 人